

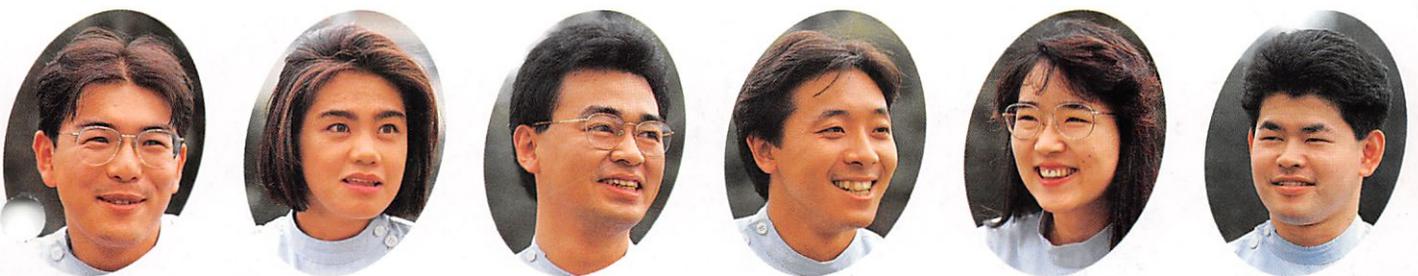
ZOOM UP



1992. No. 80



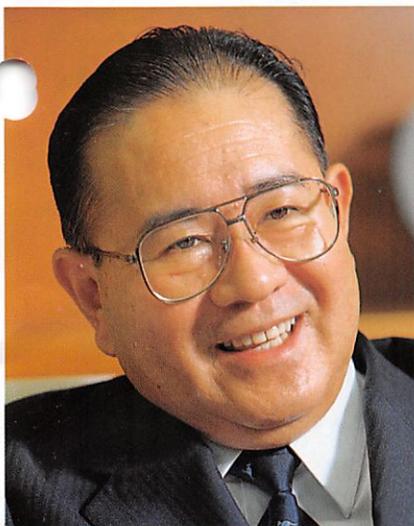
キャンパスの若人
明海大学歯学部



歯界展望

旭川空港より北海道ならではの広々とした初秋の田園風景を満喫しながら車でおよそ15分。市街に入る10分程手前に建つ白亜のビル・旭川医科大学及びその付属病院棟。10階建位はあろうかと思われるが、背後に大雪から十勝に続く山並と広大な裾野が視界に映るため、全く高さを感じない。せせこましい都会地に住む者にとってはまさに別天地。うらやましい環境である。

「やあ！いらっしやい」と笑顔で現れた清水学長。丸顔で童顔(失礼)、明るくゆったりとした印象は北海道のイメージそのまま。人



旭川医科大学学長

清水哲也

の大きさ、心の広さを感じさせる方である。

「戦後初の国立医科大学として、この地に北大から着任した頃は、病院の建物も全くなく、これは大変なことになるぞ、との予感がする一方、自分たちの一歩から、やがて素晴らしい医療人が生まれるだろうという教育者としての期待・夢をかきたてられました。お陰様で来年は創立20周年を迎えますが、今年、当大学卒業生から初の教授が誕生、感無量の気持です」。——長年歩まれて来た医療人としての心は「臨床実習に先立って作ったカリキュラムの最初の言葉として云ったのですが——患者さん来院の目的は、体の不調が何に起因しているかを医師に診断して貰い、適切な治療を求めることにあるわけで、決して皆さ

の臨床実習に対するヒューマンシミュレーターではないということです。(—中略—)か

りそめにも、わずかな医学的知識があるからといって、思いあがったような態度をもって患者さんに接してはいけないということです。目の前におられる患者さんは不幸にして病を得て来院される結果になってはいるものの、人生を生き抜く見識や学識、人生体験については若い皆さんよりはるかにその年輪をかさねておられる人生の先達ばかりなのです。次に、人の痛みをわか痛みとしてとらえることのできる医学生であって頂きたいということです。常にその手のひらのぬくもりが、病める人達に伝わっていくような対応が必要です。(—中略—)医療をめぐる社会情勢はきびしいものがあり、そのためにインフォームド・コンセントの必要性が声高に叫ばれていますが、つまるところは、当該医師が患者側から信頼をえているか否かが基盤で、信頼を失ってしまった医師が百万言を費やしても所詮は患者側の納得はえられないものです。——後略。

若き医学生に云われた言葉であるが、歯科医師過剰の中にあつて、嫌な言葉であるがドクターショッピングと、着物を取り換えるごとく、次々と歯科医院を渡り歩くといわれる現代人。お互いの云い分は別にして、心までも含めて相手(患者)の要望に沿った医療を果して施しているのでしょうか。参考になるお話である。

お生まれは岩内にほど近い日本海に面した寿都(すつ)町。薬業を営む6人兄弟の長男として家業を継ぐべく育つが、高校(旧制函館中学)時代先生から「君は一生店頭で、メンソレータムや風邪薬を売って過ごすつもりなのか」といわれ北海道大学医学部へ進みました、と医師になられた動機を。——現在の歯科医院を1人の患者さんとしてどうぞ覧になっておりますか?「今は当校の北先生にお世話になっておりますが、昔に比べたらびっくりする程早いですね。でもあの椅子に座らされて、麻酔の注射器を初め色々な機械が並んでいるのを見ると心おだやかじゃありませんね(笑)。それで私は歯を一生懸命磨くんです。毎夜、ビニールの前掛けをかけ、椅子に座って約20分。動機は北大当時、保存科の加藤先生から染め出しの歯ブラシをやらされて、全然ダメ、と云われ(笑)……。歯ブラシの使い方をお教わって……。以来優等生になりました(笑)。早い時期にキチッと教わることの大切さを知ると同時に、今は大いに感謝しており

ます」。今年64才を迎えられたが、写真でもおわかりのように顔のツヤ、容貌、共に若々しい。「私は学校を卒業してから一度も病気をしたことがないんですよ。歯も全部自分の歯ですし、目も眼鏡をはずせば細かい辞書も読めるし……。目からは総て健康そのものです(笑)」とユーモアを交えてのお話。印象通りの気さくさ、大らかさを感じさせる。「健康は自分が自分に贈ることの出来る最高のプレゼント。好きな言葉の一つです」。医療に携わる人らしい言葉である。——健康の秘訣は?「私は週2回、ゆっくりしたピッチで20分間温水プールで泳いでおりますが、中高年の場合は、自分の平均脈拍数の2割増し位の状態が約20分間維持できる運動負荷を体を与える位で充分なのです。時々医者に異常なしと云われ、すぐ亡くなられたという話を聞きますが、運動負荷を与えた時の心電図を知らないで烈しい運動をするのは非常に危険なのです。ただ温水プールによる水泳は入水時の緊張感もなく、中高年の運動には適しているのですが、問題は細菌の繁殖にもよい環境となっていることです。水から上がったら目の洗浄とウガイは丹念にして頂きたいですね。それと私は酒もタバコも全くやりませんが、カラオケが大好きなんです(笑)、老化の防止にもなりますし……。毎年この市民文化会館でチャリティーショーがあるんですが、市長、市議会議員、商工会議所の会頭と共に今年は1500人の聴衆を前にカラオケをやらねばなりません。心配で毎夜寝汗をかいている始末です。こんなことなら外国にでも逃げ出したい位ですよ(笑)」。硬と軟、聞く側をいつまでも飽きさせない話題作りはさすがだ。

厳しい勉強を強いられますが、豊かな人間性、これを忘れたらどんなに知識、学問を積んでも、医師としては失格。初めからやり直してですね、と云われた言葉が心に残る。

●略歴

昭和3年1月 北海道・寿都町に生まれる
昭和27年4月 北海道大学医学部卒業
昭和34年7月 北海道大学医学部助手(産婦人科)
昭和39~40年 米国ワシントン大学産婦人科留学
昭和45年10月 北海道大学医学部助教授
昭和49年4月 旭川医科大学教授(産婦人科学教室)
昭和59年10月 日本超音波学会会長
昭和60年7月 日本受精着床学会会長
平成元年9月 日本不妊学会会長
平成2年9月 「日母大会」実行委員長
平成3年7月 旭川医科大学学長就任

わが校を語る

明海大学歯学部

歯学部長
五嶋秀男



■プロフィール

- 昭和27年3月 (現)大阪歯科大学卒業
- 昭和29年4月 大阪歯科大学助手(歯科保存学講座)
- 昭和35年4月 大阪歯科大学付属病院小児歯科勤務
(昭和42年4月小児歯科学講座開設業務)
- 昭和40年9月 米国フォーサイデンタルセンターに
留学(昭和42年8月迄)
- 昭和45年4月 大阪歯科大学助教授(小児歯科学講座)
- 昭和45年5月 城西歯科大学教授(小児歯科学講座)
- 平成4年4月 明海大学歯学部長

東京・池袋駅より急行で45分。坂戸駅で越生(おごせ)線に乗り換え3目、川角駅で降り、緑濃い田園風景の中を約10分歩くと明海大学病院正門入口に着く。玄関脇には創設者「宮田慶三郎先生」のレリーフと詩、「明海にひらけゆく街、豊かな心がここで育つ、若人のよるこび」「ああこの世界を一度だけ通りすぎる、何かひとつ人類のために、私たちにできる何かを」と当校創立の精神がレリーフに刻まれている。何とわかりやすく素直に心に響く詩であろう。ただ初めに明海と出て来る言葉に戸惑うが、これは歯学部長のお話しにも出て来るが、増設された浦安キャンパスの海と、若人の人生を船出にたとえたものであろうと解釈する。

緑に囲まれた歯学部玄関を入り、通されに歯学部長室。専用デスク脇にテーブルが置かれ、誰でも気軽に懇談できるコーナーが設けられている。そこで当方もザックバランに…。——当校の設立動機は? 「昭和45年、当時歯科医師不足で国民が歯の治療に困っているとのことで、その社会的要請に応じて創設者である宮田理事長が、大阪歯科大学の故白数美輝雄学長と昵懇であることから相談され、設立されました。従って、私も含め当時の教授はほとんど大阪歯科大学の同僚。皆さん熱意に燃えて当地に赴任して来ました。本学はその後昭和63年「国際未来社会で活躍し得る有為な人材の養成をめざす」という建学の精神を具現化するため、千葉県浦安市に外国語学部第一部・第二部、経済学部第一部・第二部を開設し、大学名も明海大学と改めました。また、平成4年には日本初の不動産学部第一部・第二部も開設いたしました」。

五嶋歯学部長は数えて2代目。今年4月、小児歯科学教授より歯学部長にご就任。全国に巣立って、地域の歯科医師として貢献される卒業生は既に3040名。感無量のご心境であろう。「当校は若い大学ですから、同窓会の集まりに行っても、地域の名門校出身の先輩の方々との融和を図り、そのご指導のもと、当校の卒業生として誇りを持ちつつ、しっかり地域住民の為に貢献して欲しいと云って来ました。そうした姿勢が実ったのでしょうか。近年は中堅の歯科医師となり、地域のリーダーに選ばれたとの話しか聞かれるようにな

…そんな時は思わず涙が出そうになるほどうれしくなりますね。一見豪放磊落、厳しいご性格のようにみられるが、真の心は気配りのある人情家であられるようだ。

お生まれは山口県。ご経歴が示すように、大学に入学の頃は戦後の混乱期。現代の学生には想像もつかないほど、日々の生活、勉学には隔りがあったご様子。ご卒業後はそのまま大阪歯科大学で研究生生活から指導者へ。

「恩師である白数学長が、“教えて厳ならざれば、師の情なり”とよく云われましたが、やはり教育には厳しさが必要なんですね。そうした一方、“学生を叱っても良いが、怒るな”とも。この双方の言葉の中に流れるものは、

「慈悲の心」なのではないでしょうか。印象通りのご性格のようであるが、それが主として大学で養われたものであるとは…。教育者とは夢のある最高の職業だと思う反面、厳しい職業でもある、の感を深くする。——小児歯科を選ばれ、その先駆者として日々の教育はもとより、著者、論文、学会等でご活躍のご様子ですが、動機は？「昭和35年頃ですが、大阪歯科大学に時代の要請をうけて小児歯科を開設することになりましたが、当時は小児歯科の専門家が少なく…。私はそれまで保存学、口腔治療学の2つの教育を受け、更に発生学についてとくに歯の萌出機構の研究をしておりましてので、丁度いいから小児に行けと(笑)。その後本格的な小児歯科を勉強するため、2年間ボストンにあるフォーサイステルセンターに留学しました。帰国後は、アメリカでの臨床と同様にラバーダムをし、子供に苦痛を感じさせない治療を大学で教えておりましたが、当時はめずらしい手法で、よく他校から見学に来られました。当校に赴任しても、そうした経験に基づいて築いた小児歯科学を教育・指導しておりますが、それが若い先生方にも受けつがれ、根づき、小児歯科医として全国各地で患者さんから好評を頂いているのを見るとうれいんですね。」

——そうした外国でのご経験が、当校に来られ、城西歯科大学、明海大学歯学部へと受け継がれており、素晴らしいですね。では、創設者である宮田理事長の国際人を育てるという夢の一環とも言うべき姉妹校について、お話ししたいのですが——「昭和54年にメキシ



コ州立自治大学、62年に中国北京医科大学口腔医学院、63年にアラバマ大学バーミングハム校、ニューヨーク州立大学バアファロー校、平成2年に北京師範大学、3年にタイにあるサウスイーストエイシアカレッジ、同じくカナダのサスカチュワン大学、更に今年はカリフォルニア大学ロサンゼルス校と、世界各国の大学と交流を深め、現在に至っております。設立以来22年余、先輩、同輩、又卒業生その他の方々に助けられ、励まされて参りましたが、やっと関東の地に根づいた大学として、認められて来ました。皆さんには心から感謝しております。——小児歯科臨床医の先生方に何かありましたら。「小児歯科の現状と将来を考える場合の大切な要素は3つあります。1つは食習慣の動機づけ。以前近くの幼稚園で歯科教育をしたんですが、幼児期に受けた教育は、中学生になっても——例えば清涼飲料水を飲む場合でも一瞬考える習慣が身につくようです。2番目は咀嚼です。食生活が軟らかいもの主体になって来ていますので、近年は犬歯の萌出余地がなくなり、顎が細くなって来ております。嚙むという習慣は消化器系はもとより、脳の発達にも影響を及ぼします。第3は小児の歯周疾患です。歯は生え変わっても歯ぐきは変わりませんから、将来成人性歯周疾患につながっていく恐れも出て来ます。こうしたことを総合的に考えながら、子供の咬合の育成の大切さを、臨床医の先生方は説いて頂きたいですね。誌面の関係から要点のみを書いたが、自動車の絵を脳と顎にたとえながら、当方にもわかるよう丁寧に説明下さる。——地元の歯科医師会とは？「お互いに協力し合って非常にうまく行っております。当大学の設立にあたって、心よく賛して下さい…。お陰様で、今日のように大学が育ってきました。」常に歯科大学として大学が大切にしているのは埼玉県唯一の歯科大学として地域社会へ貢献し、同時に地域の歯科医師とともに医療の前進を計り、ひいては社会福祉の向上に務めております。このことは地域にとどまらず日本全体の歯科医師のレベルを高めることになり、日本の国際化の一助にもなる。そのことは国際的歯科医師の育成を目指す明海大学歯学部における五嶋秀男歯学部長の抱負でもあろう。

社団法人 埼玉県歯科医師会



会 長／関口恵造
副 会 長／金子清利
副 会 長／斉藤光生
専務理事／小林治喜
常務理事／栗沢 巖
常務理事／蓮見健壽
常務理事／岩田 正
常務理事／大井秀男
理 事／浦島 治
理 事／角田 裕
理 事／森 健
理 事／鈴木正臣
理 事／漆原正明
理 事／佐野彰信
理 事／岡 宏
監 事／角田正之
監 事／山里陽一



会 長
関口恵造

下スタッフの皆様のご厚意に、誌上より御礼申し上げます。

定例会議後、冷房の止まった会長室で、全国の読者の先生方もご存知の元参議院議員であられた関口会長、金子・斉藤両副会長、小林専務理事の4人の役員の方々から、汗ダクで、現状の活動と将来、又、ご苦心談等を語って頂いた。

会長：明治41年、たった11名で設立された当会も、ご存知のように近年の大発展にともない、平成4年9月1日現在、会員数2,204名という、大会員数を擁する県の一つになりました。県人口は約660万人ですから単純に割れば3,000人に一人という数字となりますが、開業医の都市部への集中や、昼夜の人口流動の烈しい県ですから、地域によっては皆さんもご苦心されているようです。

郡市会の構成は、今年4月所沢市歯科医師会が独立いたしましたので、現在は17郡市会となっております。

各部事業は現在11部会、どちらの県でもやられているような活動状況ですが、新執行部となり、新たに時代に即した約定見直しを、との声から定款・規約・規程検討臨時委員会。今後増えるであろう医療トラブル等を想定した医事紛争処理委員会。ご覧になっておわかりのように(笑)、県庁の建物から独立するために会館建設準備委員会等を設置いたしました。私も今後、参議院議員を辞し、県歯

会一筋に邁進できる立場にありますから、会員の皆様のご協力のもと、執行部一同と共に力の限り当会のために尽して参りたいと思っております。



副 会 長
金子清利

金子：会長は80年余続く県歯科医師会の12代目にあたり、ご存知のように此の度、参議院を勇退し県歯会会長として会員と県民の為一筋に全力を尽くす覚悟とのこと。我々執行部も会員も県行政や中央とのパイプが太いことから、期待するところ。我々執行部が望みますことは、時代に即した会づくり。その為には若い方々の意見をなるべく多く吸い上げ、各事業部も会員の立場に立った運営を、と願っていることです。そうした気持が会員の心良い協力はもとより、県民の歯科医への支持・信頼につながって行くものと思っております。

Q：ではほとんど問題は無い？

斉藤：会員間の問題は他県と比べても良くも悪くも思っています。ただ、東京に近くこれだけ流動の烈しい地域ですから、他の都・県に診療所を持ち、分院として当県に医院を設立。そのため非会員が増え、時々そうした苦情がありますね。会としての悩みです。先程会長からお話がありましたが、医事処理紛争問題等も、金子副会長が委員長としてその任務にあたっておりますが、時代の風潮を考えますと、今後は増えて来ることが予想されますから、その対策も含め、再活性化が必要だと思

飽和状態に達した東京の人口が、放射線状に広がった交通網の沿線にそって新都市を形成。埼玉県は中でも近年爆発的に人口が増加した最たる県であろう。新幹線が停車することによって大発展を遂げた隣りの大宮市がどちらかと云えば商工業都市のイメージに対して、県庁所在地である浦和市は行政を司る文政の町という印象が強い。

埼玉県歯科医師会館は浦和駅西口から徒歩で約10分ほど、県庁に隣接した衛生会館内にある。3階建の2～3階を使用されているようであるが、失礼ながら建物も古く、各地で豪華で明るい近代的な県歯会館を見ている目には、会員2000余人、大発展を遂げつつある埼玉県の歯科医師の総本部とは思えない。地味で実直な県民性とは聞かぬが、埼玉都民と云われる昨今、めずらしい(?)程の堅実さである。最も医療の本質、原点は建物より中身、人間性が大切。

今回の取材にあたって種々ご配慮、お手数をおかけした、原事務局長、山田課長補佐以

副会長
齊藤光生



しております。

その他、本日も「重度心身障害児(者) 歯科ブラッシングリーダー養成研修会」をやっておりますが、約15年前に始め、現在県下7つの重度障害施設を衛生士会と各都市部会と共に協力し歯科治療活動を実施しております。こうした地道な活動が、私達の願いである住民の歯科医師に対してへの信頼につながって行けばと思っております。

小林：私は会長の意を汲み取り、補佐しつつ実現に向けて努力することが任務であります。その第一歩が、会長の掲げられた

“ 明朗な会づくり ” でありまして、先にご説明いたしました定款改正と医事紛争処理に加えて念願の会館づくりですね。2,200余名の会員が収容でき、又、近年他県でも作られておりますが、住民のための口腔センターや寝たきり老人や障害者歯科診療施設の設置等、未来をも考

専務理事
小林治喜



慮に入れた会館建設に向けてやっと第一歩を踏み出しました。ただ建設に先立ち、会長が一番心配されていることは、会員の負担金増なんです。幸い12年間の長期に亘って当界に貢献された関口会長が行政方面とのパイプも太いことから、会員

と共に一致協力して行けば実現は可能、と思っております。完成の暁には、各大学とも協力し合って館内に研修場を作り、県下の歯科医師の総合的なレベルアップを共に図って参りたいと思っております。

会長：いま歯科医療界は、過剰、保険、医療過誤等、難しい問題を多く抱えておりますが、そうした問題も、私達の努力もさることながら、国民サイドから歯科医療の大切さが認識され、支持されることによって、初めて解決されるものではないかと思うのです。幸い当県の会員の方々は、地味で真面目な方が多いことから、今こそ、信頼が実る時期、なのではないかと思えます。皆さんの支援があったからこそ出来た経験を、今度は皆さんの為に役立てて欲しいし、その為の努力は惜しまない所存です。12年間の暖かいご支援を、当県の会員の方々にはむろんのこと、全国の歯科医師とそのご関係者の皆様に、誌上をかりて厚く御礼申し上げます。





有田歯科医院

武蔵野市吉祥寺南町1-12-12

院長 有田泰之進 有田真由美





静かな武蔵野の自然を愛し、国木田独歩や太宰治など多くの作家が移り住んだ中央線・多摩地区一帯も、近年は様相を一変、大繁華街へと大きく変貌してしまっただ。特にご紹介の吉祥寺は、周辺に大小の学校を配しているためか、沿線に住む基地の外人がそう呼んだのか、おそらくその両方であろう。若者の集まる街“ジョージ”とカタカナで発音されるほど、その名は全国的に有名となった。

ご紹介の有田歯科医院は駅から4～5分。吉祥寺通りに面した400坪もある敷地は、本来なら当然(?)大ビルが建てられるべき土地であるが、隣が広大な森林を有する井の頭公園ということで、難をのがれ(?)静かな木々の中にどっしりとした門構え、医院らしい落ち着いた風格をそなえて建っていた。院長のお話しによると、裏面の通り1本隔てた向こう側は中原住宅と呼ばれ、日本歯科大の創設者である故中原市五郎先生とその縁(ゆかり)の方々は今もなお住まわれているという。もともと歯科には関係が深い土地柄でもあるようだ。

扉と木々に囲まれたコンクリートの駐車場から玄関へ。ドア一正面に厚手の大理石を設け、続く待合室とを隔ててある。床はブルーのカーペット敷き。薄茶の椅子がコーナーに沿って6脚。受付は60cm巾位の窓口方式を採用。

治療室は薄いグレーの木目の床に、同色の壁。天井は白。窓に沿ってスマイリー(ノール)が3台並列に設置されている。これといった特別な装飾もなく、むしろ簡素なイメージであるが、ホッとさせる雰囲気は、やは

り長年培った、“医院らしさ”がそう感じさせるのであろう。

院長は終戦直後、昭和22年に日本歯科大学を卒業。大学の外科教室に残り勉強されていたが、やはり歯科医であられたお父様が、議員に立候補されるということから、実家に戻り共に診療生活へ。ちなみにお父様は大正9年に、通りの向こう側、御殿山にて開業。当時武蔵野市では最初の歯科開業医であられたようだ。尚、現在は、ご長女であられる真由美さん(日本歯科大学、昭和57年卒)と父娘診療。3代続く名門である。

Q：いま時、こんな素晴らしい立地場所はもう見つからないでしょうね。

院長：父が大正9年、御殿山で開業した頃は見渡すかぎり畑ばかりで、八百屋の2階を借りて開業したようです。その後現在の東急デパートの土地に移り、父、弟と共に診療をやっておりましたが、20年前ここに移転しました。駅に近いが将来ともビルが建てられるおそれがないところ、ということで、井の頭公園横のこの地に移りました。

Q：看板も全く出されていない？

院長：以前は玄関にさえ医院の名を出していなかったんです。娘が帰ってきて、とにかく入口にだけは、と云いまして、渋々と(笑)。何しろ父の代からですので、これ以上の人数を診るのは体力的にも無理ですから……。といって来院される患者さんを断るのも苦手で……。つい自分に無理をしてしまうものですから。

Q：患者層は？

院長：お年寄りが多いですね。政治が好きだった父と違って(笑)、院内でじっくり治療したり、技工をやったりすることが昔から好きだったものですから……。娘と共に治療をするようになって、若い方も徐々に来院されるようになりました。今でも口込みで患者数が増えるのが怖いんですよ(笑)。性分でしょうか、父は代診を雇い他人にどんどんまかせましたが、私は人まかせが出来なくて(笑)。以前は夜中の1～2時頃まで技工などをやっておりました。

Q：現代の若い先生方をご覧になって、いかがですか？

院長：昔は先輩は厳しいもの、怖いものといった印象だったんですが、今ではお互いに何でも話し合える自由な時代になりました。うらやましいと思う位、良い時代ではないでしょうか。娘も自分の思い通りにやっているようです(笑)。

Q：断絶は？

院長：卒後他院で勤務医を10年間やってきましたので、本人なりに歯科医のあるべき姿、又診療などを学んだようで……。こちらが、ああしろ、こうしろ、と云わないでも自然に良いところを取っていくようです。私としても楽な感じですね(笑)。

Q：診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：20年前になりますが、住居を含めた全体的な設計は、有名な設計士に頼み、良



い感じに仕上がりましたが、診療室は専門家と違って、歯科医院の先々のことや細かいところはわからなかったらしく、今になるとちょっと不便です。私も当時は子供達は女ばかりですし、後を継いでくれるかどうかもわからなく、ユニットも外国製品を買い、年をとったら1日5～6人をゆっくりやれば良いと考えていましたから、あまり文句は云えませんが(笑)。今度、娘が戻るにあたって、ビル、ということも考えましたが、診療室の内部改装だけで済み、ホッとしているところです(笑)。

Q：外国製品からオサダの〈ノーベル〉へ。何故？

院長：娘が友人の開業医のところを色々みて来てオサダが一番良いと……。私も話からデンタルショーに行き調べました。ノーベルは、無駄がなく、操作が総て手元に集約され便利、と感じ決めました。お年寄りの方には仰臥の姿勢が苦しい方もおりますし、座っても背中がピタッとあたらないと不安になる人も多いため……。この機械は良く考えられていますね。昔は豪華な感じが良いと云われ買いましたが、一つが壊れると総て取り替え、最後には寄せ集めの機械となりましたが……。ノーベルは気に入っております。

Q：この辺りも医院過密でしょうね。

院長：東京でも1、2といわれる程過密ですね。でも新規開業は大歓迎というわけで

はありませんが、近くで開業があるからと、そんなに心配することはないと思うのです。患者は親切丁寧、真剣に相手をもって診療すれば、必ずついて来くれますし、自然に増えてきます。ただテナントでの開業は大変ですから、若い人には気の毒ですね。

Q：3代目を引き継ぐ真由美先生。現在の心境はいかがですか？

真由美先生：最初は歯科大にはあまり行きたくなかったんですが、生物がわりと好きで解剖など全然怖くなかったし、細かいことも好きだったことから、進路を美大から歯科大に変更、現在に至っております(笑)。歯科医は父も義歯が好きですが、私も技工やメタルボンドの色ぎめなどキ

ツッと仕上がるとたのしくなっていて、今は良かったと思っています。

Q：将来は？

真由美先生：勤務医時代は、それではやっていけない、とよく怒られましたが、父もそうですが、一つの歯も大事に大事にと、気軽に抜歯などしないタイプなんです。そんな考え方、治療の仕方が私も好きで……。祖父、父と続いて来られている患者さんを、そのまま違和感なく引き継いでやっていけたら、と思っています。一つのところで落ち着くということは、患者さんの成長と共に生きていける、ということですから、そうしたたのしみを感じながら、自分も共に頑張って行けたら良いな、と思っています。



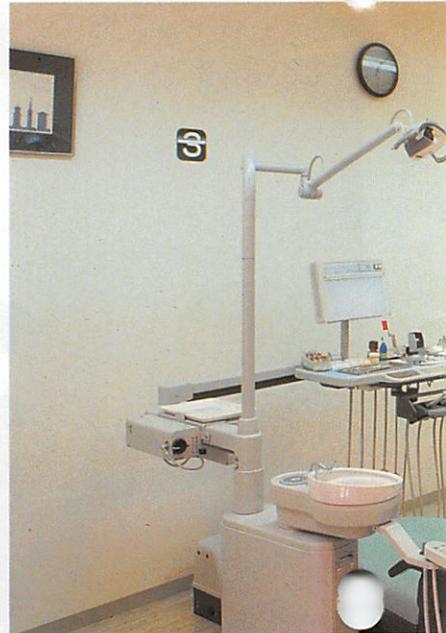


三井歯科医院

埼玉県浦和市別所大里79-1 武蔵浦和駅ビル2階

院長 三井靖徳





新宿から川越へとつながる埼京線に乗っておよそ30分で電車は武蔵浦和駅、イコールご紹介の三井歯科医院へと着く。イコールといったのは医院はプラットホームの真下、改札口と同じフロアに位置しているからである。電車の音が時々響くが、それさえ気にしなければ、これほど至便な医院も少ない。以前、駅舎を買いとり歯科医院を作られた診療所を紹介したが、当院は山間の駅とは違って東京への通勤客で混み合うベッドタウンの駅ビル内。レストランフロアの突き当たりにある。従って写真でもおわかりのように、限られたスペース故、通路を挟んで受付と診療室が両側に分かれている。受付・診療室とも特に奇をてらったところはなく、機能的で明るいイメージ。駅ビルという立地条件と来院患者層にマッチしているのであろう。取材日も待合室には患者さんで溢れていたが、診療日・時間は木曜、祝日を除く朝10時から夜9時までと、あくまで患者さん主体になっている。

診療室は中央に入口を設け、ユニットは左右に4台ずつ、計8台を設置。床から天井までの大きな窓からは眼下に住宅と木々の緑が広がり気持ちが良い。インテリアは白樺の木目の床とホワイトの壁・天井をベーシックカラーとし、そこに〔ファインGM〕、〔GM〕、〔FX〕、計8台のチェアグリーンを調和させている。

院長は日本歯科大学を卒業後、都内で勤務医を5年間経験、昭和62年に当地で開業。

スタッフはドクター10名、衛生士・助手・受付等の女性は20名という大所帯であるが、担当医制で、歯科医とスタッフが一つのチームを組み、患者さんもそれぞれにわけられているという、ちょっと珍しい医院体制である。が、近年アメリカではこうした形が多くみられることから、より良い診療体制を求めるこれからの歯科医院の在り方を示唆する一つの方向と思える。

Q：担当医制診療所、ちょっと珍しい試みですね。

院長：ええ、ですからいま写真を撮ったスタッフは全員というわけではなく、今日のそれもこの時間帯のスタッフという訳です。スタッフ数は多いのですが、2交代制になっておりまして、休日も週2日、時間も担当医によってそれぞれ違ってまいります。ですから、無理なく患者さんの夜間・休日の診療ができるわけです。

Q：給与体系はどうなっているのですか？

院長：基本的にドクターの診療点数に比例しており、また診療点数の高いドクターは多くの経費を使える体制ですので、その経費で優秀なスタッフを専任で使えることとなります。より良く働く人はより多くの報酬を得るといふ、その人の能力に即した給与体系になっております。ですから、ドクターやその他のスタッフの給料も当院ではすべて素通り、ガラス張り

となっていますが、皆さん患者さん第一に頑張っているようです。

Q：歯科医を志されたのは？

院長：特別歯科医が好き、というわけではなかったのですが(笑)、経済の動向に左右されない職業ということで選びました。

Q：で、現在のご心境は？

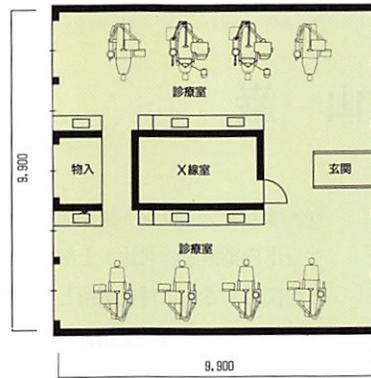
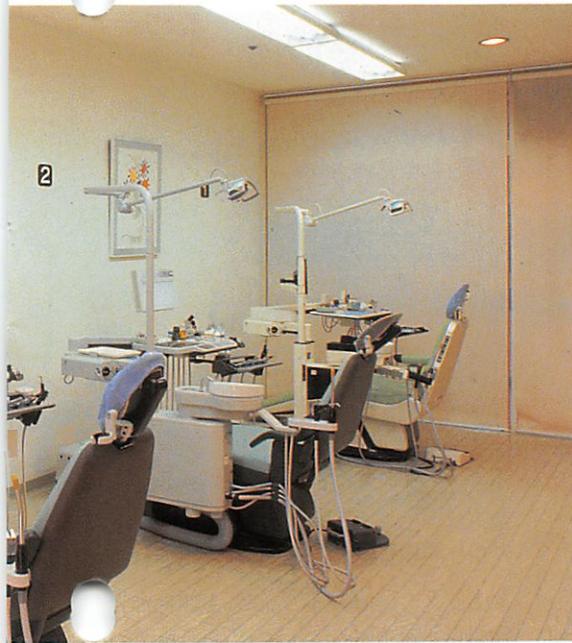
院長：良かったと思っています。近くの精神病院の患者さんも来院されるのですが、歯科医療を通して、地域社会全体に貢献できるこの職業を選んで良かったと近頃しみじみと思います。医院数は半径3キロ以内に30~40軒ありますから過密地帯ですが、それだけにやり甲斐もあります。

Q：患者層、患者数は？

院長：駅ビルという立地条件から、当初は通勤客が主体と思っていたのですが、ご覧のようにここ2~3年、昼間は主婦や若い女性、あるいは子供達や自営業の方など、乗降客ではない近郊の方々も来院されるようになりました。しかし、夕方からは勤め帰りのサラリーマンの方が多くなります。数は一日約100人位ですね。

Q：では保険診療が圧倒的？

院長：保険医である以上それは当然ですね。患者さんから特別要望がない限り自費診療にはしませんので、95%以上が保険診療です。歯科医師としての責務は、とにかく痛い人、歯に病む人を助けることに



あるわけですし、経済的なことも含め患者者に無用な負担をかけないことを基本理念としております。

Q：スタッフ等の研修は？

院長：先にいいましたように担当医制ですから、そのドクターのスタッフはそのドクターの理念にしたがって働く必要があるため、特に医院全体としての研修・勉強会は行ってはおりません。それぞれのスタッフはドクターが責任をもって教育されているようです。

Q：医院設計に際してご留意された点は？

院長：駅ビルという性格上、スペースがきまっておりましたので、趣味性に走らずにスペースユーティリティの向上を図っています。小さな診療室を大きく見せるには(笑)、チェアの後方のスペースを出来る限り広くとり、見た目を開放的に、ということをお心掛けしました。

Q：オサダのユニットを選んで下さったのは？

院長：勤務医時代オサダのユニットを使っておりまして、開業時にはその機械を院長からわけてもらったことが発端です。GM、ファインGMと続いて来たのは、オサダのユニットは他メーカーに比べて、基本的な機能をしっかりと押さえつつ、なおかつコンパクトに出来ているからです。先程いいましたように決められたスペースですから、ユニットは小さければ

小さいほど良いので。それとオサダはメンテナンスがいいことです。使い始めの2年間位はどんな機械でも壊れにくいのですが、問題はその後です。オサダは何年たってもキチッとやってくれますから……。メンテナンスの不安があるかないかで診療している時の安心感が全然ちがってくるものです。

Q：年がお若いのにこのスタッフ数、さぞ御苦労も？

院長：開業に先立ち、母校の補習学教室教授である横塚繁雄先生と長谷川均先生にはぜひ分お世話になりました。ここまで来られたのはこのお2人の先生がいらっしゃったからこそ、と感謝しております。スタッフ数が多いことはそれぞれのドク

ターが自分のペースで責任をもってやっておられますからさほど……。それより当院から巣立っていかれた先生が既に20人ほどにもなりますから、全国を回って共にお酒を飲んだり、近況を語り合ったりで、楽しいことの方が多いですよ(笑)。

Q：今後は？

院長：基本的な考え方は、どんな患者さんでもわけ隔てなく診る、という現在の方針を貫いていくつもりです。若いからできるという言い方もあるでしょうが、自分の体よりまず患者さんを第一に。一生懸命やっていたら、患者さんは必ずついて来てくれますから、その姿勢で今後もやって行きたいと思っています。



Z O O M ㄟ C L O S E - U P



飯島国好先生 の巻

東京都大田区西蒲田7-4-3
カーサ蒲田309

東京・蒲田駅西口を囲む商店街、その一角の裏面に建つマンション。お聞きした住所をたよりにやっと玄関前に辿り着く。「イイマ歯科」の名が申し訳のように書かれているが、その看板は全くない。宣伝の時代といわれ、医院の窓はもとより、電柱にも歯科医院名が目立つ昨今、どんな先生だろう、多少偏屈な先生は覚悟しても、偉丈高な先生にはちょっと困るな、と思って恐る恐るドアを開ける。「やあ、いらっしやい。あと1人で治療が終わりますから、ちょっとお待ち下さいますか?」と笑顔で現れた先生。写真でもおわかりのように温和でやさしそうなイメージにホッとを通り越して、自分の思い込みの低次元さに思わず反省する。「いやー、看板の件ですか。開業時、若さの至りかな。どこかの本に、名医は宣伝しなくても患者は寄って来る、と読んだものですから…。案の定当初は暇でしたねー(笑)」。ん!なるほど、なるほど、素晴らしい先生だ。玄関前で考えていたことなど忘れてしまって、我が意を得たり、とばかりに感心する。

今回は、北大歯学部助教授である大畑昇先生のリレーにより、歯学雑誌や専門書、又各シンポジウムや講演で、開業の傍らご活躍の飯島国好先生を診療所にご訪問した。

「大畑先生とは染谷先生が相談役をされていた雑誌に、若手のグループも入れようということで、推薦されて同時に入ったことがキッカケです。初対面でしたが意気投合しましたね。以来、歯科医療についてはもとより、旅行に行って人生を語り合ったりする仲になりました。40才を過ぎてから親友が出来るなんて信じられませんが…。本当に素晴らしい友人が出来たと…。うれしいですね」。

昭和21年長野県・伊那市に生まれ育つ。47年日本歯科大学を卒業。卒後は東京・赤羽第一歯科で1年、日野市・山名歯科医院で1年半勤務医を経験された後、此処蒲田で開業に踏み切られた。先述のように看板もなく開業



されたが、暖かい人柄、丁寧な診療が口込みで伝えられ、今では他院に紹介し、断る患者さんも出ているという。過密といわれる近年でも、相手(患者)のニーズに沿って、質の高い医療を提供すれば、どんな条件下でも出来る、の感を深くする。先生は「いやー、私も未完成で学ぶところばかりの多い人間で」と謙遜されるが、昭和60年、先生の評判と実力をしたって来られた若手の歯科医と「無名塾」という名の勉強会を設立。症例はもとより、歯科医師のあるべき姿等、人間教育にも力を注いでおられる。「20代の頃は宮沢賢治、30代は吉田松陰、今は上杉鷹山(米沢藩主・興讓館)を建て、英才教育を施すと同時に自らも向学の模範を示した人物)の生き方に憧れ、少しでも自分に取り入れられたら、と思っています」。列举された名前を聞いてだけで先生のお人柄がわかるようだ。「鷹山が云った言葉ですが、“人民は藩主のためにあるのではなく、藩主とは人民に奉仕するためにある”とあの時



代に自ら云ったんです。「えらいなー」と思うんですよ」。医療に従事する人間にも一脈通じる言葉。こうした先生のもとで学ばれる若い先生方は幸せだ。「小学校の頃歯の治療を受けてものすごく痛い思いをし、友達に“こんな痛い治療をしない歯医者になってやる”と云ったらしいんですよ(笑)。今でも友達は覚えているようですから(笑)」と歯科医になった動機を。――歯科医療の将来については「今まではう蝕の治療をするのが歯科医の主な仕事だったんですが、近年は歯周病から、更に顎関節症まで、歯科分野は大きく広がって来ています。やっと医学の一分野として認識されて来たな、という感じで、素晴らしい時代



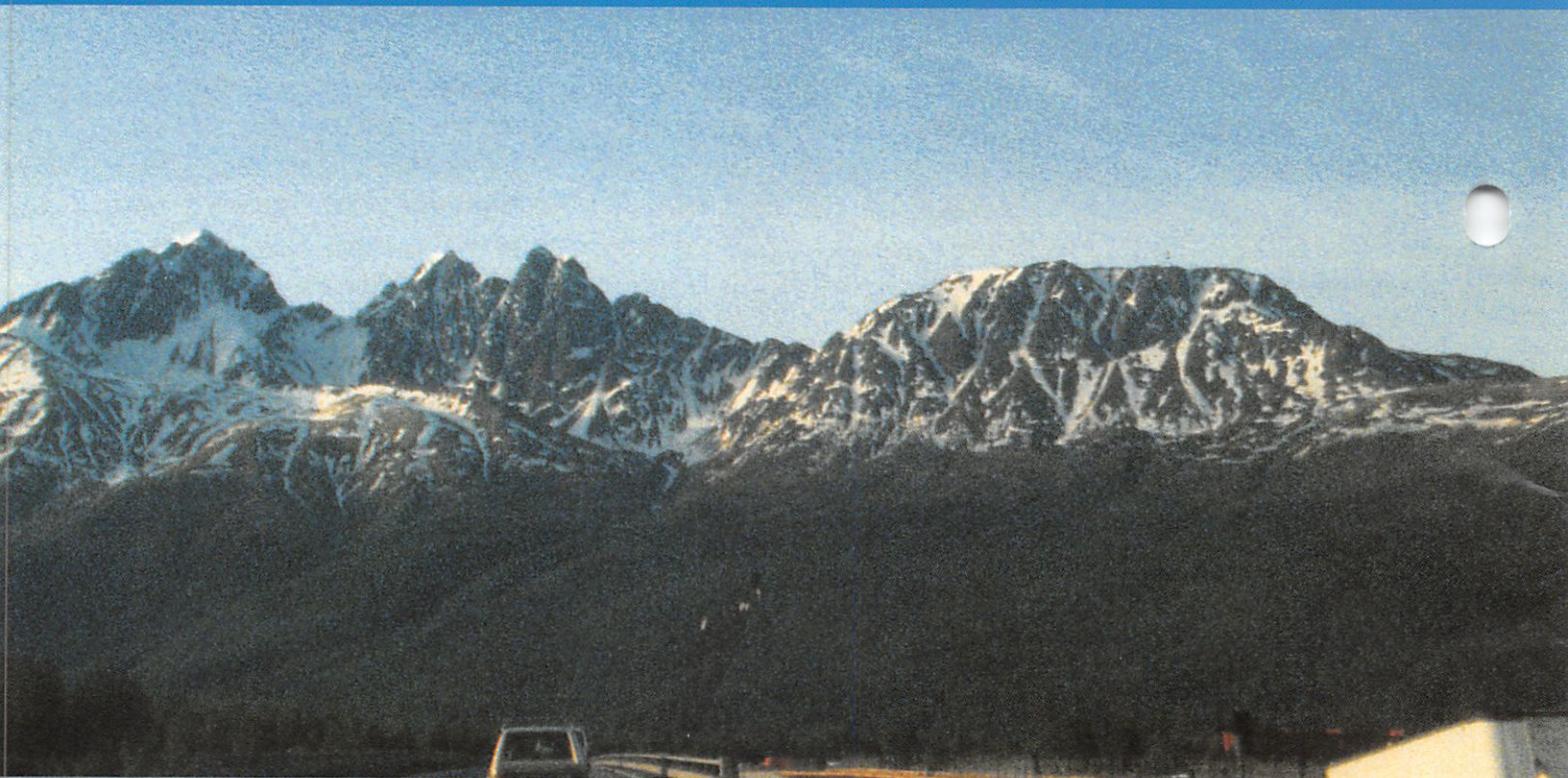
を迎えていると思います。最高の歯科医療奉仕とは、いかにしてう蝕や歯周病を発生させないか。メスやタービンを握らないですませるか、ということだと思のです。やっと糸口を掴んだばかりですが、手応えもあり、近頃は歯医者になって良かったなーと思えるようになって来ました(笑)」。誠実に真面目な人柄が伝わって来る。「僕は35才になってやっとお酒が飲めるようになったんですよ(笑)。お陰で友人もどんどん出来るし…。一杯のお酒でこんなにうち溶けて話しが出来るものであるとは知らなかったんですよ。蒲田の歯科医師会は代々の会長さんを初めとして、素晴らしい方々が揃っているんですが、会の終わった後の一杯で、その人の素顔が出て、尊敬を新たにすることが多いんです。卒後故郷で開業を、と考えたこともあったんですが、こんなに良い人に囲まれているこの地をもう離れることは出来ません」。人間大好き、ロマンチストでもあるようで…。増々たのしくなる。



スタッフの人達の対応も落ち着いた中にもやさしさがこもっている。「恵まれていますねー。私が気をつけていることは、患者さんが帰られた後、たとえイヤな印象を受けてもその人の陰口や悪口を絶対に云わない、ということです。院長がそれを云えばスタッフにも伝わり、自然に院内の雰囲気か暗くなります。臨床医は自身をとりまく人達1人1人の心を大切に。感謝の気持ちで日々を生きる、これが大切なのではないのでしょうか。皆に支えられて生きている自分。僕の子供にもそれを伝えて行きたいですね。この先生と接したらおそらく患者さんも離れられなくなるだろう。純粹にひたむきに、そしてたのしく。「卒後20年、やっとこれからのスタートです」と云われた言葉が、先生の総てを物語っているように思われた。



海外だより
◆
アメリカ
「最後のフロンティア」
アラスカ(その2)





時の米務大臣ウィリアム H. シーワールドが1867年にアラスカを購入した時、アメリカ人は「シーワールドの愚行、冷蔵庫」と悪口を云うだけで、この地球の果ての極寒の土地に関心を示す者は皆無だった。

その後、金が発見され、有名なゴールド・ラッシュとなり、アメリカ人も世界の人達もアラスカを認識するようになるのだが、このアラスカの近代化に一番貢献したのは多分日本だ、ということを知る人は意外と少ない。

荒野や辺鄙な土地の近代化に欠けてはならない基本的要素は交通の便である。得たいの知れない極寒の大自然アラスカの顔を変えることとなったアラスカ・ハイウエーは、1942年の10月25日にその一部を残して建築を完了した。

当時アルカン・ハイウエーという名称で、完了に数年かかる計画だったが、何と8ヶ月と12日間で完了という信じられない猛スピードの仕上げとなったのは、日本の真珠湾攻撃が背後にあったからである。それ迄このハイウエー案に反対し非協力的だったカナダ政府の態度が、パールハーバー事件で一変した、と伝えられる。

英領コロンビアのドーソン・クリークか

ら、100以上の川を横断し、アラスカのデルタジャンクションに至る1,422マイルの2車線ハイウエーは、今日では年間5万台のアラスカ行きの車に活用されている。

米国がこのハイウエー開発を迫られたのは、同盟国ソ連に軍備機器その他を運搬する必要と、米国の北西部地域の防備の為に、日本のアメリカ本土攻撃の可能性を前にしていたからだ。それで米陸軍の7つのエンジニア連隊が昼夜を問わず事に当り、数年かかるところ8ヶ月ちょっとで完了という業をやった。7連隊中その3連隊は、全員黒人連隊だった。

今年はこのアラスカ・ハイウエー完了の50周年に当り、各種の祝典が企画されている。その為、アラスカ・ハイウエーを活用する観光客は既にこの夏時点で30%アップと伝えられる。自主決定能力が進んできたネイティブ（エスキモーとインディアン）は、祝典といわず記念と呼ぶなら参加する、という姿勢だそう。このハイウエーのお蔭で白人社会のライフスタイル侵入が容易となり、ネイティブ文化破壊となっている以上、その50周年を「祝う」気にはならない、ということだ。

アラスカ州のシンボルは、花では忘れな草、

魚はキング・サーモン、鉱石物は金、宝石はひすい、鳥は冬になると茶色から雪のように真っ白に色変わりするライチョウ、スポーツは大ぞり、そして州旗は米各州の中でも最もシンプルな空色に8ヶの星、となっている。これは天にかがやく夜空の熊座からきたアイデアと言われる。熊は長い冬眠に耐える体力と能力で、「偉大な力」の象徴であることは衆知のところである。



Mr. Bennet
W. Brooks

Governor's Office of
International Trade

ブルックさんは、アラスカ州政府の日本交渉窓口だ。それもその筈で、東京滞任2年の経歴の持主で、滞任中は日経の記者として働いたという。ハーバードの大学院でパブリック・ポリシーを専攻。日本ではわざと田舎に住んで、英語が通じにくい環境で日本語に慣れる努力をした。だから日本語は殆どペラペラのレベルである。

彼もアラスカ経済が90%近く石油で支えら

れているところから、オイル・マネーの急減が他の天然資源開発に拍車をかけることとなり、先住民とのテンションが高ずる可能性を懸念しているひとりだ。

今のところ、アラスカのトップ輸出国である日本とアラスカの関係は大変良い。今年に入って、キーナイ (Kenai) と日本の秋田が経済協力の話を進めているが、この種の相互協力企画は相当ある模様だ。殆どが、アラスカの天然資源開発・活用である。キーナイと秋田の場合は、日本では少なくなったハタハタの対日輸出と聞く。ウニを海の雑草と嫌がるアメリカ人にとっては、ハタハタもそれに近い存在らしい。



Dr. Robert
W. Robinson

Alaska Dental Society

アンカレッジから車で1時間程のワシラ (Wasilla) に移動し、先ずアラスカ歯科協会のロビンソン会長と会う。長身で、「風と共に去りぬ」のクラーク・ゲブルに似た魅力的な男性で、一見歯科医というよりプロ・スポーツマンの印象が強い。彼はヴァーレー・デンタル・クリニックの院長で、この洒落たクリニックは彼のデザインしたものだ。1985年に建築したが、「何から何まで私がデザインしました」と楽しそうだった。

私の第一印象通り、この人は歯科以外の分野でも成功間違いのないと思われる人だ。歯科医の道を選んだ理由を聞くと、次のような返事がもどってきた。

彼は、学生時代に色々と思案したようだ。それに依ると、まず「自分自身のボスでありたかった。また、その特定職業が、自分の24時



間を完璧にコントロールするものでないことを希望した。また、選ぶ職業が、人との接触をもたらすものであり、自分の手を使ってやる仕事であることを希望した。大学生としての彼は科学が好きで、「問題を解く」ということに興味を持っていた。というわけで、あれこれ思考している中に、「歯科医」という言葉が何度も頭に閃くのに気が付き、この道を選ぶこととなった。

アラスカ歯科協会の会長としての彼は、「多分この歯科協会は全米最高でしょう」と誇りやかだ。メンバーはみな仕事熱心で献身的な人ばかりという。その具体例として、ここ3~4年は不況ということもあって、アラスカの歯科分野の経済事情は最悪だろうだが、会員の殆どは治療費の値上げをせず、オーラル・ヘルス教育啓蒙につとめているようだ。

彼と話していて感じるのは、アラスカを背負っているリーダーのひとりとしてのその抱負である。

「私達は、アラスカがアメリカの東洋の窓口となることを希望しています」という。彼と名刺交換をしたとき気付いたことだが、裏側はロシア語である。ワシラには白系ロシア人が定住していたこともあり、感覚的にロシアが身近だ。彼自身、講演その他でよくロシアに出かけるという。「ロシアを含む東洋の米国窓口となるよう、私達は関係作りに力を入れています」と、ロビンソン医は熱っぽく語る。ちなみに彼の奥さんはロシア人で、ロシ

アの歯科分野で働いていたと聞く。



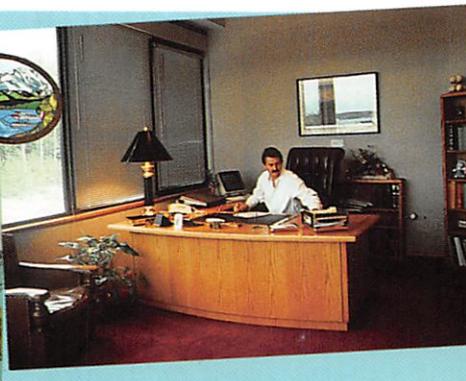
Curt Menard 上院議員

私の今回のアラスカ取材は、「上院議員で歯科医がいる」と聞いた途端に決定した、と前回で書いたが、この私の感は全く正しかった。メナード上院議員と会って話をする程に、私はアラスカのみならず、フロンティア時代の昔のアメリカ、そして人間社会の横顔を深く学ぶこととなった。彼とは数回に分けて会い、全く自由自在な取材形式をとった。

アラスカの首都はジュノー (Juneau) で、アメリカ50州の中で唯一の、空路か水路でしか行けない州首都である。つまり、外界からジュノーに入る道路は無い。それで、州議会開催となると、上・下院議員はみな小型飛行機で飛んでくる。

アメリカ本土の地方で車なしの生活が考えられないように、アラスカでは小型飛行機は車と同格の必需品だ。自転車か車に乗る気軽さでセスナに飛び乗り、スッと舞い上がって何処かに行く。勿論自分で操縦してである。

アラスカの政界は、2年期間の40人の下院議員と4年期間の7人の上院議員から成る。上院議員の顔ぶれの中にエスキモー2人とイ



海外だより
アメリカ
「最後のフロンティア」
アラスカ(その2)



Dr.メナード家の庭

雨が降っても釣り出来ます。

ンディアン1人、下院の方にもエスキモー2人とインディアン2人(それぞれ男女ひとりずつ)がいる。上・下院議員の中の女性は16人程と見受けられた。

ジュノーで州議会開催中は、1日100ドルの手当がつく。しかし、上院議員の年俸は、2万1,000ドル程という、漁夫の年収をはるかに下回るものという。ニューヨークの秘書ですら、これ以上の年給をとる人は多い。だから政界に乗り出す目的は収入ではなく、各議員が代表する特定地域の利権確保と改善・発展の為、との解釈が正しかろう。

私はメナード上院議員(以下、Mと省略)と会う前に、彼のエイド、日本風に言えば秘書のBill Siedlerさんと会い、アラスカ政界とM上院議員について色々話して貰った。

シードラさんはイリノイ大学でお父さんが教授をしているので、彼は同大学で歴史と人類学を専攻した。ベトナム戦時代、軍用犬のハンドラーとして沖縄に派遣され、100匹単位で、爆弾やガス・リーク用に犬を訓練したという。奥さんのお父さんがアラスカの議員で、そこでアルバイトしたことがきっかけで、M上院議員の秘書となった。

アラスカの州法では、上院議員が副業を持つことが許されているという。此处では「プロフェッショナル・ポリティシャン(政治専門)」を嫌う空気が大変強い。だから議員の殆どは、先生だったり、医師や歯科医だったり、漁夫、雑貨店経営者だったり、という具合だ

そうだ。土地の人々は、その方が州民の生活により深く関係し、故により広く、深く理解を持つ議員が自分たちを代表してくれる、と信じている。

「M上院議員の秘書をしていると学ぶことが多い。最大のレッスンは、『政治は折衷の芸術』と体得したことでしょう」と彼は云う。「色々な利権がぶつかり合う世界ですから、本当にそれらを大局から見てベストとなるよう折衷し、展開させたいという信念を持っていなければ、とてもやれる仕事ではありません」。

各分野の色々な人が、あれをしてくれ、これをしてくれ、と要求する。当然苦情も多い。それらの対応窓口が彼の仕事だ。どの話を真先にM上院議員に取次ぐべきか、どの話は彼のレベルで処理してしまうか、の判断を要求される仕事で、全く「人間社会」について日々学ぶことが多い。

政治活動の原点は、「ゲット・シングス・ダン(処理すること)」だ。その為に、最も大切な議員としての心掛けは、「オープン・マインド(心を開いて人の話を聞く)」と思う。そして「役に立ちたい」と心底思っていないければ、効果的諸事処理は無理である。全く、その気になれば1日24時間働いても足りない世界だ——、と話は尽きない。

M上院議員と最初に会ったのは、彼のデンタル・オフィスで、白衣姿から活気がピリピリ伝わってくる、というのがその第一印象。彼

の右手は事故で失われているので、メタルの義手だが、その不便さを少しも感じさせない。障害を乗り越えて、どんどん前進する人だ。親しくなってから、ある夜彼が話してくれたのだが、彼が右手を失うこととなったのは、7,200ボルトの電流にふれたからである。

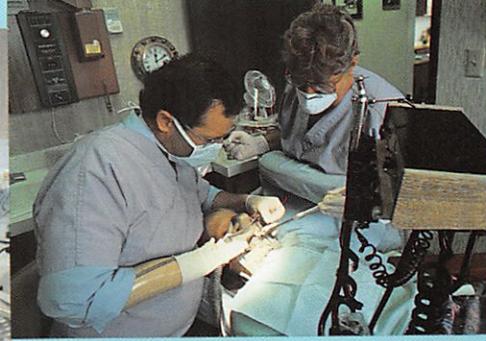
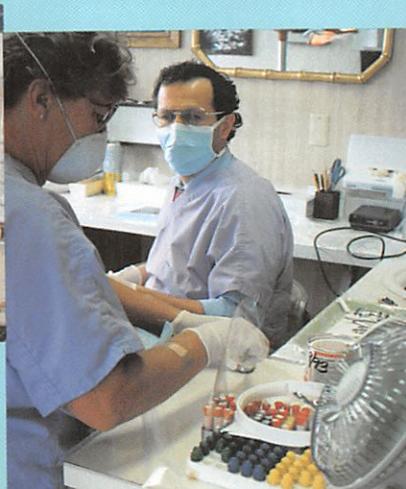
彼のホームステッド(一言でいうと「家」だが、正式には、昔移民に米法律で移譲された自作農場をさす)の周りにはりめぐらされたワイア・フェンスがその原因だ。このホームステッドに移ったのは1972年のことだったが、天気の悪い時セスナで庭に着陸する際、どうも車輪をひっかけそうで危険極まりない。電気会社に、ワイア・フェンスの位置が判るよう目印をつけてくれと頼んでも、なかなかやってくれない。

それで、しびれを切らした彼は、或る春、息子の1人と自分でそれをする事とした。梯子をかけて、フェンスのトップのワイヤに目印をつける作業にかかって、そのワイヤを右手で掴んだ時、この7,200ボルトの電流のショックを受けたわけだ。履いていた靴のお蔭で感電死はまぬがれたものの、右腕切断となった。ワイヤに電気が通っていたことを聞いていなかったわけだ。

当時彼は右利きの歯科医だった。3人の子供を抱え、目先が真っ暗になった。思案にくれていたら、人々が、「左手で続けなさい。私とその練習台になろう」と、励ましてくれた。それで、左手で、1日に1人、そして2人、



秘書のMr. Bill Siedler



とやり出した——、というのが歯科医としての彼の背景である。グループ・プラクティス診療所を経営し、今、4人の歯科医が此処で治療に当たっている。彼の奥さんは事務の方の担当だ。

診療所の取材が終わったのは午前11時頃だったろうか。「暫く待って頂けるなら、ランチを共にしましょう」、ということとなった。私は取材中は感一筋で、スケジュールは自由自在なので喜んでこの申し出を受け、彼の運転で彼の家でのランチとなった。

絵に描いたようなただっ広い彼のホームステッドについたら、色もサイズも様々な犬が3匹、「お帰りなさい！」と飛び出してきた。一番大型の黒い犬は黄色いボールをくわえてきて、彼に「遊びましょう！」。それで湾つぎの庭に回り、M上院議員がボールを湖に向かって投げ、犬が飛び込んでそれを回収し、彼の足もとに置いて「もっ！」となった。水からあがってくる度に、犬はブルブルッと身ぶるいするので、彼のズボンの裾はまたたく間にびしょ濡れとなるが、そんなことは平気だ。

水上の棧橋の脇にある小屋は床がなく、雨が降っても腰掛けて鮭を釣れる仕掛けとなっていて、「この仕掛け（天候に関係なく、自宅での釣り）をそのうち」と10年以上も夢としている私を羨ましがらせた。息子さん2人が網で鮭を捕り、「1日でこれだけ！」という収穫の記念写真を見せられて、つくづくアラスカは別世界、と思ったことだ。捕った鮭は日本に売る息子さん達のアルバイト、とのこと。

ホームステッドのあちこちに、目的の異なる家屋が建っている。「これはスティーヴの家」という家の横にはスティーヴのセスナがあり、「これは泊まり客用」の家のバスルームは、ニューヨークの一流ホテルも顔負けの凝ったものだ。そうかと思うと、掘り立て小屋

式古びたものもあり、「アラスカ・デンタル・センター」という看板がかかっている。中に前世紀に使われた感じの歯科治療椅子や機具があった。

この掘り立て小屋の前で撮った彼の写真を本土アメリカの友人に送ったら、「アラスカの歯科事情はまだそんなに未開発!？」とびっくり、とM上院議員はお腹を抱える。

「ランチ時間は1時間」と家の中に入るや彼の頭は「何を食べるか」の方にいってしまい、家の中の説明ガイドは息子のダーツ君となる。ダーツ君は4人いる息子の一番下で、お嬢さんもひとり、つまりお子さんは合計5人だ。M医は私の頭の混乱を感知して、直ぐさま、「これはNo.1サン（最も年上の息子）、あっちはNo.3サン……」と切替えたのは流石、と感心した。私が云っているのはコミュニケーションのことだ。

M医が冷蔵庫をのぞいて思案している間に、ダーツ君は家の中を隅から隅まで案内してくれたので、彼のでんぐり返したルームから、それにほぼ近いお嬢さんのルームやM夫妻のベッドルーム、各バスルーム等、と拝見する機会に恵まれることとなった。

これは、日本では到底考えられないことである。だから私は、あえて詳しく書くのだが、その目的は、日米文化・価値感の相違を指摘したいからに他ならない。

「時間が無くなったから」と、「昨夜のディナーの残りで間に合わせて良いですか？」と、ハンバーガの一皿盛りとパンと紅茶となったランチにしてもしかりである。初対面、しかも遠来の客にとって、このような形式の自宅でのランチは、「In（仲間扱い）」という感覚で、親しみ深く喜ばしいものだ。

「みすばらしいから」とかいった理由で、まず自宅に招待せず、招待してもまず客間以外はオフ・リミットの日本の感覚とは全く逆



3人の息子さんを紹介するエリーさん

だ。「昨夜の残り物」を出すなんて、日本ではもっての他であろう。この辺の価値観の相違が日米間の各摩擦の根底にあると思う。あるがままの人間のつきあいを、日本人が出来るようになるには、まだあと一代位かかるかと私は思う。

私はその夜、アラスカのキング・クラブを食べる予定だったが、「今夜、ハイスクールの卒業式でスピーチをするので来ませんか？」とM医に誘われ、そちらに出席することとなった。

マッス・オルタネイティヴ校は、4年前に問題児の為に作られた実験的教育制度という高校である。アルコールやドラッグの道に迷い込んだ青少年、シングル・マザーとなった女の子、理由は色々だが、ハイスクールをドロップ・アウトした青少年の為の学校だ。人生の門出でつまづいたこれらの若者達を励まし、卒業資格を獲得させて社会に送り出すことをその目的としている。

この卒業式に生徒達の父兄・友人達に混じって参加したことは、私の生涯の最も感動的体験のひとつとなった。励まし、教え、導いた先生達と、導かれ、新しく出直す努力をして卒業していく学生達は、強い慈愛の絆で結ばれていた。私は常々、人生をくじけず生き抜く上で、最も必要とするものは「愛」と信じている。「愛」は無条件の理解者であり、真実を原点とする故敵しいが、何時も頼れる協力者である。人生の初期で、この「愛」を体



海外だより
アメリカ
「最後のフロンティア」
アラスカ(その2)



験したか、しなかったか、がその人の人生街路に大きく影響する、と思っている。

この学校の教材その他を私は一切知らないが、先輩が後に続く若者に、最も貴重な贈物を提供する学校であることは間違いない。後で聞いたら、この地域の社会プログラム中、最も成功しているケースという。最初の卒業生は2人で、父兄数は15人だったそうだが、今年の卒業生は39人、そして参加数は500人位という事実がそれを裏書きしている。卒業証書を受けとる卒業生の1人ひとりから、抱擁された校長先生は、新入生に云うそうだ、「私はルーザー（敗残者）だ、君達もルーザーだ。しかし、ルーザーは努力次第で勝てるのだ」と。帰りの車の中でM上院議員から聞いた話である。校長になる前の彼は、もとアル中であった、と。

その後、わたしは誘われるままにまたM上院議員宅に戻り、夜中近く迄の会話となった。彼はミシガン生まれのミシガン育ちで、奥さんとは同じ小学校だ。小学校5年生の時、彼女にバレンタインデーの手紙を書いた、といっただけで笑う。結婚して30年になるそうだ。

彼は働くこと、人々と接触することが好きなので、今の生活をフルにエンジョイしている。その反面、「やるべきことは限りなく、常に効果的に諸事を片付けることに頭をくだく」という。話していて、彼は常に「生きること」を深く考え、常に学ぶ人、と強く感じた。

相互に色々な体験談となり、彼は左指には

めている変わった金の指輪に関するエピソードを語った。ある時、飛行機の中でロシアの鉱夫と知り合った。ソ連崩壊以前のことである。別れる時、その人は指からこの指輪をはずし、「あなたにこれをはめて頂きたい」といった。彼はびっくりし、「さぞかしあなたの家族にとって由来の深いものに違いないものを頂くわけにはいかない」と何度も辞退したが、その人があまり言い張るので受取った、という。

「あの鉱夫にとって、金額的にも途方もない貴重なものを、どうして彼は、見知らぬ私にくれたのでしょうか？」

この疑問が長年彼の頭にあることを知った私は、色んな意味で、返事することとした。

「私の考えでは、それは『依頼、希望の依頼』だと思います。彼の環境では、何も出来ない。しかし、貴方の環境ではそれが可能だし、貴方は人間的にもそれが出来る人—だから、末永く、多くの人達の為にもがんばって下さい、ということでしょう」

翌朝5時にホテルに迎えにきた Elle Janecekさんと、私はアンカレッジ空港に向かった。ノームに行く為である。エリさんはアラスカ大学の学生で、看護学を専攻。秋の新学期の経費をひねり出す為、夜レストランでウェイトレスのアルバイトをしている。昼間もベビーシッターなどして稼いでいる。滞在中の私のショーファを頼んだ人だ。

彼女にとって日本人は私が初めて、という

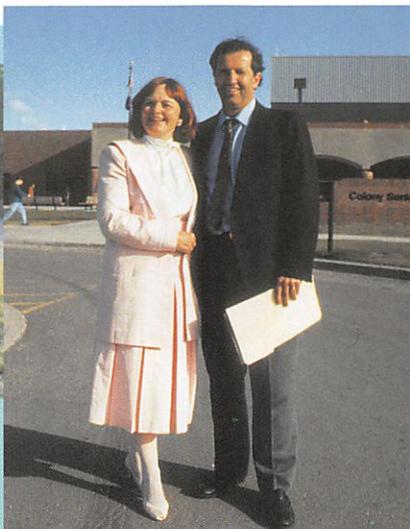
こともあって、最初は些かかきこまっていたが、私が「良ければ取材に同席したら？この日本人がどんな質問をするか、そして各分野の人がどんな返事をするか、を知るの面白いかもよ」と云ってから、すっかり親しくなった。移動中車の中で話す機会に恵まれたので、若い世代を通してのアラスカ理解に役立った。

一般に、独立独歩精神に富んでいるアメリカの若者達は、日本の若者達よりずっと大人という印象が強いが、18才のエリさんもその例に洩れず、なかなかしっかりしているので感心した。たとえば、彼女が医者でなくナースになる選択をした理由が挙げられる。

「私はヘルプ（人助け）したい。医者は欠陥を『修正』しますが、ナースは『看病、世話、養育』をします」

これを聞いた時、私は心中唸ってしまった。これほど簡潔に、要を得た医者とナースの役割の相異指摘に初めてぶつかったからだ。別の例を挙げると、彼女の有権者としての意識である。「投票権は、最も基本的な、そして最も大切な市民の権利です」と明瞭に言い切る彼女は、自分の1票を大切に、良く吟味して投票すること疑いない。

ノームは1899年に金が発見され、世界的ゴールド・ラッシュとなって、「ゴールド・ラッシュ・シティ」と呼ばれるようになった。当時のお金で月に100万ドル（今日の金相場では10億ドル）の金が採掘され、儲けの90%は



発見者の3人の懐に17年間入り続けた、という伝説的土地である。

今日のノームは昔の面影をわずかに残す灰色の無気な町、というより古ぼけた建物のかたまったフロンティア地帯だ。人口は4,000人位で、その半分以上はエスキモー、そして人口の75%は政府雇用となっている。ベトナム人口が相当存在し、韓国人経営のピザ・ブレースもある。バーは10もあり、「飲んで遊び、また飲んで遊ぶ」住民層は相当厚い模様だ。

そのせいか、教会数もバーのそれと同じ10軒である。ちなみにラジオ局が2つあり、異なった宗教団体がそれぞれ運営している。

はるか外界から隔離されたノームの生活は、近代文明につきものの汚染を知らぬ代わり、単調、また単調、がその特徴といえる。氷解けが始まると、ノーム海岸でキャンプをしながら金探しをする人の姿が増加する。此処で私が会って話を聞いた人達は次の通りである。



Dr. Ray Lang

ノームに存在する唯一の私設診療所、ラング医と彼のパートナーの歯科医の2人が自分達の手で建築したものである。歯科患者数は1日平均20人。2人でその治療に当たっている。主として虫歯や、凍った食品や怪我による折歯の治療が多いそうだ。オーソドンティック、口腔外科、歯周病の診療は、2ヶ月に一度とか半年に一度の割でやってくる専門医が当たる。眼科診療もやっている。患者の25%は保険で治療代は無料。

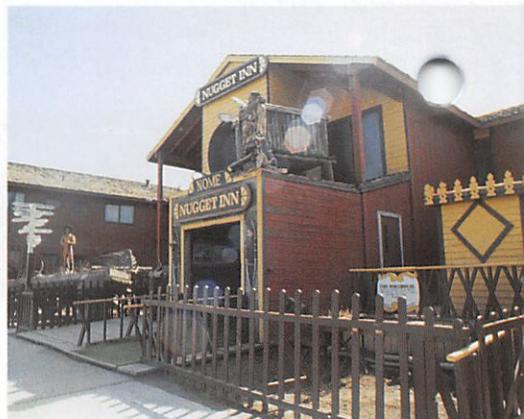
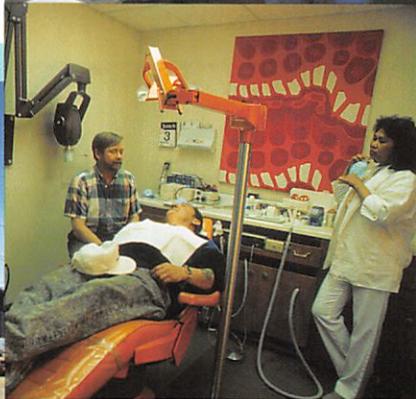


Mr. John Handeland NOME市長

近年犬ぞりレースがアラスカのスポーツとして盛んになってきていることもあり、ラング医は余暇に犬の飼育もしている。夕方、彼自身の手で建てたという夫妻の家を訪れ、40頭の訓練中の犬を見せて貰った。訓練のひとつは、餌を与えられたら、パッと速く食べることで、その為、餌は2分間で取り上げてしまう。レース中の食事の時間に、一度でも餌を食べそこねた犬は、その後のレースで走れず、チーム全体の支障となるからだ。

2日に一度、運動の為、ソリにつけて20マイル程走らせる。犬ぞりレース用の犬は、1頭3,000ドルから5,000ドルの値段だそうだ。

診療所で事務を担当する奥さんのCarlaさんのお父さんは、ハリウッドの写真家で、彼が撮ったゲリー・クーパーを初め、他の名だたる名優の写真が壁一杯に飾られていた。



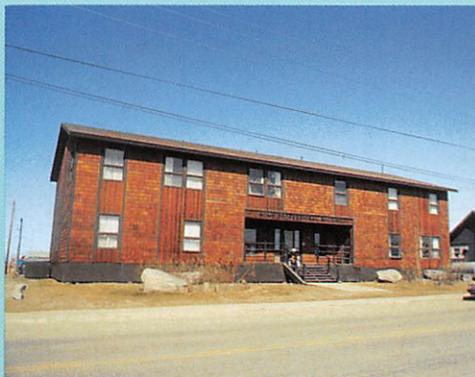
Dr. Mark Kelso
Norton Sound
Health Corporation

此処の歯科で働くケルソー医は、ミズリー生まれ、テキサス育ち。野外生活が好きなので此処に6年前に来た。

患者はエスキモーが多く、虫歯治療が最も多い。その他で多いのは矯正歯科と歯肉炎という。虫歯発生率は、全米平均をはるかに上回るそうで、原因は浸透する白人食餌といわれる。

エスキモーが常食してきた食餌は、ブラック・ミート(せいうち)、シール・オイル、そしてQuawkという冷凍肉で、中でもシール・オイルは彼等にとって日本人のお米の様な常食品に当たる。60才以上の年齢層のエスキモー人口の歯の健康状態は、永久歯を磨いたことのない人が殆どだが、白人食餌に侵された若い世代に比べてずっと良いそうだ。

白人のライフ・スタイル侵入ということでは、喫煙も問題だ。主として高校生レベルで最も盛んだが、ケルソー医の体験では、小学



NOME Professional Bldg



海外だより
アメリカ
「最後のフロンティア」
アラスカ(その2)



校一年生の6才の子の喫煙を目撃したことがあるという。

エスキモーは大変独立独歩的で、外部からの干渉を嫌う。特に彼等が「生来の権利」と信じる狩り中心の生活に、規定を前提とする政府干渉が強まれば、衝突は避けられないこととなろう。



Richard Foster 下院議員

アラスカ取材で最後に会ったフォスター下院議員は、祖母がエスキモーだったので、「私の体流れる血の1/4はエスキモーの血」と云うだけあって、ことエスキモーの現状の話となると熱っぽく、止まるところを知らない。ノームに生まれ、1988年に25のエスキモー部落を代表する下院議員となった。彼のお父さんが、1946年に北極地帯最古のエア・サービスを創業していたところから、彼もブッシュ・パイロット（フロンティア地帯のパイロット）を長くやった。そのビジネスを売ってからは、金鉱山ビジネスに関与している。ア

ラスカ大学卒で、サイゴン人の奥さんとの間に2才から20才の子供が9人いる。20才の子は、来年英国のオックスフォード大学で法律を専攻することになっている。

エスキモー部落の最大問題は下水施設と飲み水で、その原因は地域のことを知らない政府規定・援助企画という。以前エスキモーは「ハニー・バケツ（人糞入れ）」が一杯になったら海に捨てていた。春の氷解けて、捨てられた人糞その他は外海に流れていく。飲み水は雪や氷を解かす、という簡単なやり方入手していた。ところが政府は規定をどんどん作り、干渉してくる。

昔、鯨を捕って生活していた時代のエスキモー部落は、色んな意味で今よりずっと豊かで健康的だった。ところが捕鯨は御法度となり、エスキモー達は職のみか、食物を買う収入の道も失ってしまった。政府は援助対策で、エスキモーの為に家を建てる。「やることもなく、収入源のない人にとって、何の役にも立たない中に浮いた対策」だ。「第一、電気代が払えないから、家の中は真っ暗です」。

「ハニー・バケツ」の中身を捨てる場所も、飲み水・使用水は何処から汲む、ということも法律で縛られてしまった。政府が作った貯水施設の水の味がおかしい、変な臭いもある

との噂がたち、数カ月後にその理由が判明した。政府の無知から、この貯水施設は古い墓場に作られ、住民が飲んでた水の底には死骸が幾つものところがあったわけである。または殺菌用に投入された薬品が多量過ぎて、抵抗力が体内に出来ていないエスキモー部落の全員が病気になったり、死者を出したりもしているそうだ。生活が苦しく、将来の希望もないエスキモー人口の自殺率は、全米平均の10倍から20倍といわれる。

彼のサイゴン人の奥さんは、90ポンドと体は小さいが、「頭脳の精力は凄い」。長い結婚生活で、彼女との議論で勝つたためしがない、と彼は笑う。「此処の人達は肉体的にはタフだが、頭脳的に弱い」とつけ加えた。

5月末からアラスカは鮭のシーズンである。それで私は是非鮭釣りをしたいと、NYから釣り竿その他を抱えていった。しかし「オオ・イエス！ 数日前から始まりました。ほら、釣人の姿が窓から見えますよ」と取材中に云われても、釣りのチャンスは無かった。そして名物のキング・クラブも、あれやこれやで食べる機会に恵まれなかった。

だから、私にとってのアラスカは、どうしても、また一度行かねばならぬところである。



Norton Sound Health Corporation



筆者紹介

岩本蘭子

ポストン大学大学院ジャーナリズム科卒
ランコインターナショナル社長



DENTAL SPACE

医療法人 一隅会 歯科・片岡医院

岡山県赤磐郡山陽町上市355-4

院長 片岡久美子

使い易さと不安感を感じさせない診療室をイメージ。ズーム・アップは大変参考になりました。

JR岡山駅より初秋の県道を北東に向かって車でおよそ30分。ご紹介の歯科・片岡医院はその県道を一本入った、前面は産業会館、裏面は広いスーパーの駐車場、側面は小学校という、住商地区にありながら、お訪ねした時間帯からか、静かな雰囲気。医院環境としては好立地で恵まれた条件下にあるように思われた。

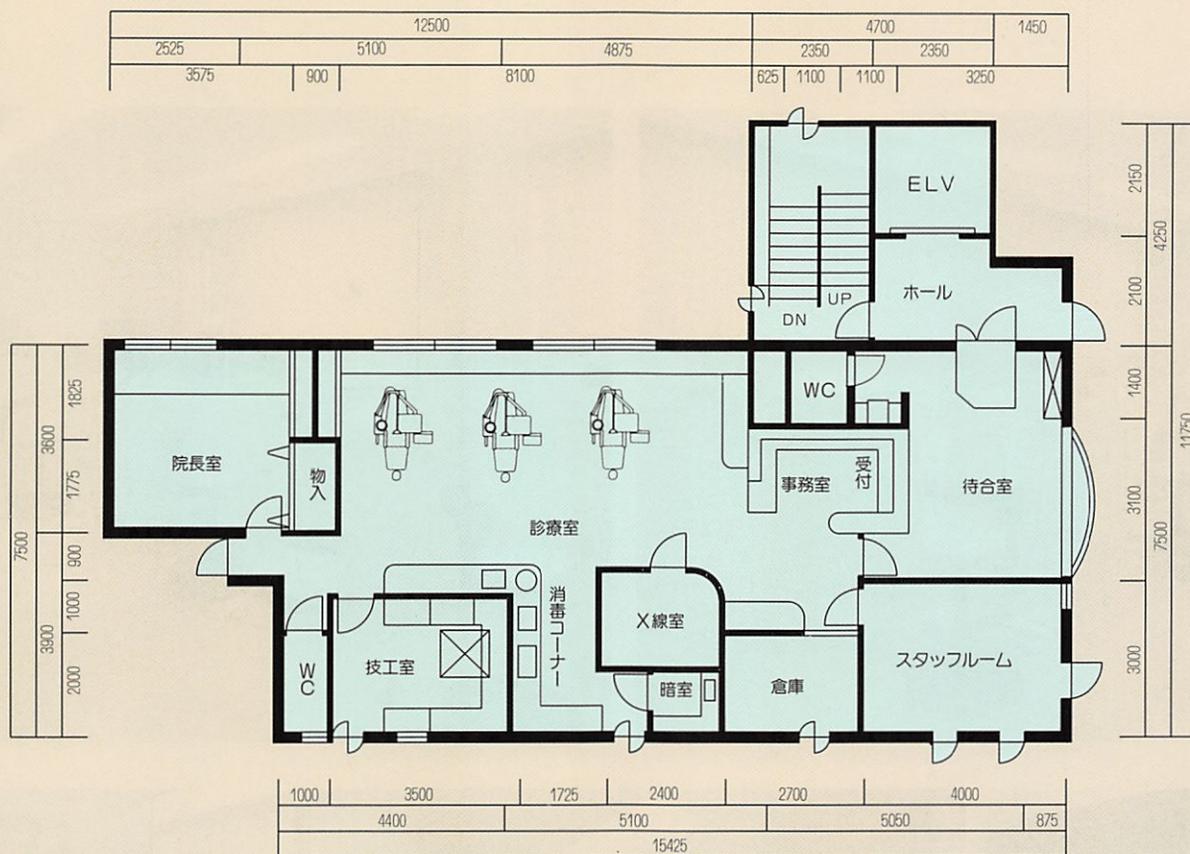
濃淡グレーをベースに銀色とガラスブロックを配したモダンな3階建のビル。1階を駐車場、2階はお母様とお姉様が経営される眼科・耳鼻咽喉科、3階を歯科に使用されている。

エレベーターに乗り、歯科待合室へ。床はグレーのカーペット。4~5人掛の待合用椅子が2脚。受付は素通しガラスを上部にはめ込んだ窓口方式。近年、内部との仕切りがない全くのオープンカウンターが多く見られるようになったが、受付員が常時座っていれば良いが、現金を扱う場所だけに盗難の恐れも多い。が、こうして素通しガラスをはめ込めば閉鎖的なイメージもなく、防止にもなるように思われる。通りに面した窓からはガラスブロックを通して屈折した光が室一杯に広がる。色調は総て淡いグレーで統一されているが、そのモダンで若々しい色合いを補って

るのが、椅子、受付前部、その他各所に採り入れた柔らかな曲線。よく考えられた演出、設計である。

診療室はページュの床に天井は白。その他の壁、キャビネット、間仕切り等は総て淡いグレー。後部にキャスターをつけた中折れ間仕切りの中には、グレーとアイボリーのツートンカラーのパーソナー〈FX〉3台が窓に沿って並ぶ。前面の大きくとった窓からは校庭、その背後には緑の山なみと青く澄んだ秋空が広がる。歯さえ痛くなければ(?)、患者さんも気分爽快、元気が出て来そうな診療室である。

院長は愛知学院大学歯学部を昭和61年に卒業。卒後地元岡山に戻り、岡山大学歯科放射線学講座で1年程勉強。その後教授の紹介で岡山県歯科医師会の会長をされている森本先生の診療室で、厳しくやさしい指導を3年程受け、平成2年春、当ビルが完成と同時に



- 設計・施工：(株)チシマ、イオン建築設計事務所
- 開業：平成2年5月 ■スペース：約140㎡(約42坪)
- ユニット：パーソナーFX3台
- 診療時間：9:30～12:30、15:00～18:00(月～金)、土曜16:00迄、休日・日曜、祝日、木曜午後
- スタッフ構成：歯科医師1名 衛生士2名、助手1名、受付1名
- 患者数：1日30人前後



院長：片岡久美子先生

開業へと踏み切られた。

写真でもおわかりのように小柄で可愛い小医さん、というイメージ。患者さんもさぞホッとすることであろう。

Q：歯科医師を志された動機は？

院長：実家がもう何百年も続くお寺なのですが、2人姉妹で、姉が母と同じ医科に進んだものですから、私か跡を継がなければ、と思って高校時代文系に進みました。けれど姉や姉のお友達のお話を聞いている内に、お医者さんもいいな(笑)と。でも姉が、医科は大変よ、女性は歯科が良いのでは、と云われ…。父親の関係から、仏教系の愛知学院に入学しました。現在実家は私の主人が継いでおります。

Q：で、今の心境は？

院長：よいスタッフに恵まれ、診療は順調に進んでいます。

また患者さんからも時にはお礼の手紙を頂いたりして……。この職業を選んで本当に良かったと思います。

でも現在2才の子供がおりますので、ベビーシッターの方に来てもらっておりますが、やはり長時間の診療は無理で、正味6時間ほどしか働らくことが出来ません。お産の時は代診の先生に来て頂き、閉めずに済んだのですが、今後保育園から学校と育って行きますので、色々心配ですが、自分の出来る範囲でその時々を精一杯努力したい、と思っています。女医としての一番の悩みですね。

Q：ご主人の協力度は？

院長：いろいろな面で協力してくれています。子供もよく面倒を見てくれるし、診療所で壊れた場所などがあればすぐに修理してくれます。子供もお父さんの方になついているよう

で(笑)。とにかく、主人の協力がなければとても出来ません。感謝しております。

Q：スタッフを含め勉強は？

院長：愛知学院大学の同窓の先生方がここ岡山県に46人ほどおられますが、その集まりや研修会にはなるべく出席するようにしています。またビデオも多に活用し





ています。勤めていた頃は熱心な先生がおられて、色々と学ぶ機会が多かったんですが、今は日々追われて…。技工士さんその他の方々と話しながら、皆さんから少しでも勉強を心掛けています。本格的な勉強が出来ない。その辺が悩みですね。スタッフの方は、経験豊富な衛生士が1人おりますので、その方が新しいスタッフを熱心に指導してくれまして、助かっております。皆、能率よく診療できるよう協力してくれています。

Q：眼科医であられるお姉様と比べていかがですか？

院長：眼科と歯科では分野も異なるので比べたことはありませんが、歯科の方が肉体的なストレスが多い、と思いますね。ただ姉は大学に長くいたので、勉強も世界的で、外国にもよく出掛けて行くようです。

Q：診療室を作られるにあたってご留意された点。又、いま反省している個所はありますか？

院長：雰囲気は一般的ですが、清潔で明るく効率的な診療室を、ということでした。ズーム・アップに出て来る診療室をあれこれ見ながら自分で設計図を描き研究しました。最終的な設計はオサダさんから紹介を受け専門家に依頼しました。ほぼ満足ですが、既製品を買って取りつけた流し台の部分など、ちょっとしたところが不便で…。少々高くてもやはり歯科医院専門の業者に全て任せた方が良かったと、いま思っております。

Q：オサダのFX、選ばれた動機は？

院長：実は大学も勤務医時代もオサダは使ったことがなかったんです。でも先輩にオサダを使ってる方がいて、トラブルが少なく、アフターケアが良いと。特にアフターケアの良さは皆さん口を揃えてほめておりました。最初は多少不安でしたが、ショールームで試してみたら、コンパクトで、1人でも手元で総て操作出来ますし、咬合採得など垂直姿勢も完全で、すぐ決まりました。今は入れて良かったと思っています。

Q：将来は？

院長：将来、特別こうしたいというような事はありませんが、たえず患者さんの立場に立って治療に専念し、怖い痛いのイメージがある歯科医院を私自身女性であることで少しでも不安感を取り除けるように努力し、家族ぐるみで気楽に来てもら



える医院として、スタッフと共に頑張っ
て行きたいと思っています。

Q:友人、知人の方々に。

院長：なかなか会う機会がないのですが、皆
さん、それぞれ頑張っておられるよう
です。私も遅れをとらぬよう努力したい
と思います。とにかくお体には気をつけて
下さいね。そしてぜひ又お会いしたいで
すね。

〈設計・施工の立場から〉

歯科診療キャビネットの設計・制作にあたっ
て…。

ドクターの診療思考を表現出来れば最良の
診療スペースであると思います。さて、その
中でも診療キャビネットの持ち得る機能はユ
ニット同様大切な要素と考え作成する必要が
あります。したがって、我々設計・施工等に
携わる者としては、施主の意見と夢を現実化

する事が大切になります。

予算等においても御理解頂ける様努力をし
ておりますが、従来家具・キャビネットと呼
ばれる物は建築の中でも比率が少なく、単に
収納棚としての機能のみで医療としての大切
な要素が削られ、予算等においても同様の有
様でした。しかし、今日歯科医療の機器多種
化に伴いキャビネットもより機能的に利用さ
れるべきと考え、ドクター及びスタッフの御
意見を頂き、これを栄養としてより斬新な品
物を製作致しております。

片岡歯科様には、こういった点を汲んで御
理解頂き納品・完成の運びとなり、先生を始
め工事に携わられた方々のお陰と感謝致して
おります。

株式会社 チシマ 代表取締役 桑村 史郎

歯科医院の新築・
改築・増築から、
医院経営まで、
すべてわかる。



歯科医院

定価10,300円
(本体10,000円)

開業ガイド

- 〈主な項目〉
- 歯科医院のセクション別実例
 - 歯科医院のレイアウトチェッ
クリストと基本事項
 - 歯科医院のレイアウト実例
 - これから開業される先生方へ
オサダからのアドバイス他
- 〈別冊付録〉
- 設備機械、器具、材料リスト



歯科医院

定価6,180円
(本体6,000円)

経営マニュアル

- 〈主な項目〉
- 開業準備の留意点
 - 開業準備計画書/開業収支・
資金計画書
 - 歯科医の節税戦略 (青色申告
・特別経費・専従者給与・みな
し法人・損益通算・特別償却・
MS法人・医療法人
他)
 - 財テク・税テク

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株/顧客センター

〒141 東京都品川区西五反田5-17-5

☎03(3492)7651(代)

歯科医の傍ら、蝶に魅せられ40余年。
日本産土着種231種類採集に
あと一息となりました。

浜島歯科医院

北九州市八幡西区大字楠橋2939-22

院長 浜島光雄



「羽の色、形、目の表情、仕ぐさ、そのどれをとっても、思わず引き込まれてしまいますね」。通された院長室には、歯科関係の本と共に羽を広げた標本完成一步手前の各種の蝶が、セロで押さえられ、各所をピンでとめられ並んでいる。「この段階にするのには2通りあります。一つはその場でしめるか、一旦冷凍庫に入れ、解凍後こうしてとめるかです。

このまま2~3ヶ月置き、その後ケースに入れます。次々と白いキャビネットから出される蝶の麗姿は写真でもおわかりのように目を見張るばかりの美しさだ。子供の頃、青虫はまだわかるが、あの毛虫がこうした蝶に大変身するのは信じられなかったことを思い出す。ウルトラマンの変身どころではない。「過去に採集されたものを入れると288種類と記録されているのですが、現在は日本産土着種231種類の蝶がいるんです。現在私のコレクショ

ンケースには190種類入っております。沖縄方面に行けば、あと少しで揃うんですが、なかなか時間がとれなくて…。私の性分ですから、その後は海外に目を向けるんでしょうから、そうなればもう無限。たのしみを先に伸ばしているんですよ(笑)。ただ自然環境が破壊され、生態系が狂って絶滅していく蝶もありまして…。蒐集と共にその生態研究も私の今後の課題でもあるのです。——蝶に魅せられたのは? 「私の小さな頃は今のように色々





な遊びがなかったものですから、もっぱら野
や川での、自然の中での遊びでしたから…。
初めはモンシロチョウやアゲハチョウを追い
かけていましたか?次にその姿に魅せられて
…。小学校、中学、高校、大学では勉強のた
めちょっと休みましたが…。今でも気持ちは
その延長線上にあるんですよ。「でもあくま
で私の趣味ですから、人に見せたり、お金に
えようとは決して思いません。家族も全然
興味を示さないですし、診療室にも、中には
嫌いだという人もおりますから、全く飾って
おりません。淡々と話すか、蝶というのが幸
せ一杯、という雰囲気は全身から伝わって来
る。こうした集まりの会はあるのですか?「え
え、色々な会がありますよ。私は日本鱗翅(り
んし)学会と北九州の会に入っております。会
員は東京の9000人位を筆頭に全国で2万人
余りいると思いますね。その内歯科医は5~6
人いるのでしょうか?北海道の川田先生とは知
人の紹介で、電話や手紙のやりとりをし、蝶
の交換もしておりますが、まだ一度もご本人
には会っていないんです。どんな方か、Zoom
・アップで紹介してもらえるといいんです
ねー(笑)」。各標本には種類、採集(棲息)
地、年月日が…。八ヶ岳、六甲、富士山等々

…。——でも相手が生き物。採集も大変でし
ょう。「谷の底、山の上など色々な場所です
から体力もいりますが、土・日の休みに飛行機
で行って、電車を乗り継ぎ、現地はレンタカ
ー、車で寝て早朝現場に、というのが一番い
んですよ。食草を調べて行きますから、ど
こにどんな蝶がいるかはだいたい見当はつい
ておりますから…。でも今は歯科医と両立で
すから、余り遠方には出かけられません」。庭
の花壇の木々には網がかぶせられ、人工飼育
の設備が、「ええ、近くの山にも飼育場を持っ
ているんですが、人工飼育は見た目はきれい
で、汚れもないんですが、やはり自然の中で
育った蝶の方が色にも深みがあり感激も大き
いから、私は好きですね。「人工受精は羽化し
たばかりの雌に元気の良い野外の雄を人為的
に交尾させ、あとは室内の直射日光をさけた
環境を整えてやれば、誰でも簡単に出来ます
よ。餌は種類によって変えますが、ハチミツ
やカルピスを10倍位にうすめたものに、ナシ
や桃などの汁をまぜ、うす味にして与えるだ
けです」。本業の歯科医のほうは?「九州歯科
大学を昭和44年に卒業し、初めは育った東区
で9年程開業しておりましたが、11年程前に
ここに移りました。月曜日から金曜日まで、

1日30名前後の患者さんを治療しておりま
すから、忙しいですね。欲を云ったらキリが
ありませんが(笑)もう少し時間が欲しいで
すね。初代で自分が歯科医に向いているかど
うかわからなかったんですが、なってみたら
とびきり好きじゃあないが(笑)合っている
ようですよ(笑)。でもどちらかという、蝶
のほうかな(笑)。でもこれでメシは食えない
から、診療と趣味のどちらも一生懸命。今後
もこの姿勢をつらぬいて行きたいですね。保
険については?「保険制度そのものは良いと
思いますね。地方はほとんど保険が主体です
が、患者さんに高齢者が多いことから、義歯
の点数がもう少しあがってくれたら、と思
います」。

小倉駅まで車でおよそ40分。付近の山々は
切り崩され、高速道や住宅地、あるいは巨大
な遊園地などに変貌していく。それはそれで
仕方がないことだろうが、そこに棲む生き物
はどうなっていくんだろうか。浜島先生が云
われた「今ではおそらく消滅してしまってい
る蝶もいると思います。その原因の一番は環
境破壊でしょうね。守ってやりたいと思いま
すが…。企業利益との両立は無理なんでは
うか」という言葉が顎をよぎる。



北千住矯正歯科

東京都足立区千住2-21 ミナミビル3階

理事長 田口元康
専務理事 沖藤寿彦

鹿志村有里子さん
羽田 美幸さん
久野 陽子さん
鶴岡 順子さん
村山 知重実さん

JR、東武浅草線、地下鉄日比谷線、千代田線が交差する北千住駅。ご紹介の北千住矯正歯科は駅前正面のアーケード街をおよそ150m程歩いたテナントビルの3階にある。文字通り矯正を専門とする歯科医院で、設立は昭和63年5月。九州歯科大学より東京医科歯科大大学院に進まれた田口先生と同大から同じく大学院に進まれた沖藤先生が、その後お2人で共同設立された医療法人。お2人共、どちらかと云えば小児が多い矯正歯科を選ばただけあって、温和でやさしそうな印象。それをカバー(?)しているのがご紹介の衛生士さんと受付嬢。皆さん元気ハツラツ、やる気満々、毎日がたのしくてたまらない、という感じである。

最初にご紹介するのは北原歯科衛生士学院を卒業された鹿志村さん。卒後から希望していた矯正医院に2年勤めたが、身体を悪くして退職。再就職した当院で既に3年目を迎える、そろそろベテランの域に入る衛生士さんだ。——矯正専門を最初から選ばれた理由は? 「小学校時代自分も矯正をしていて、そ

こで会った女性の方がやさしくて…。その後は忘れていたんですが、高卒時、このまま勤めるのはなんとなく嫌気がし…。その時昔会った歯科医院のことを思い出し衛生士専門学校へ入りました」と小さな時の印象とこの道に入った動機を語ってくれた。——矯正歯科はたのしい? 「患者さんは子供が多いし、1人の子と2~3年つき合うでしょ。子供の育った環境、親の躰けかたがわかり自分でもよい勉強になります。待合室では親に反抗しているんですが、診療室に入るといい子ぶったり…面白いんですよ。でも時々私も怒っちゃうんです(笑)」。子供が好きで仕事が面白くてたまらないといった印象。「でも私が子供を持つのはまだまだ先です」としっかり答えてくれた。

次にご紹介するのは日大松戸歯科付属衛生士専門学校を卒業された羽田さん。お生まれ育ちは群馬県であるが、学校と故郷に近いことから当院へ勤めて3年目。この道を志された動機は「高2の頃雑誌でこうした職業があることを知り、資格も持てるし、将来を考え専門学校に入りました」。——矯正歯科を選ばれた理由は? 「学校で各専門を回って実習をしたんですが、矯正は特殊な分野ですが、衛生士としての活動範囲が広いと思ったものですから…。結紮、印象、X線の設定などが主な仕事ですが、最初は言葉も器具もわからず見学のみ。一年以上たってやっと少しづつわかるようになりました。子供は特別好きじゃあなかったんですが、ここに入ってだんだんたのしくなってきました。治療も多少の痛みはあるんでしょうが、泣きわめくほどの痛みではないし、期間も長いから子供の方から話しかけて来てくれます」。——じゃあ学校で習っ

たスケーリングなどは、たく不要? 「いいえ、最近の本などで紹介されますから成人の方も来院されますよ。そうした方にはスケーリングや刷牙指導など勉強したことが活かれます」。ハキハキとした明るい言葉使いが気持ちいい。

久野さんは受付を担当される。5人並んだ写真の中で最も日焼けした健康そのものといったお嬢さんです。それもその筈、彼女の専門は体育の先生。日本女子体育短期大学を卒業し、中学の体育の先生の免状はむろんのこと、水泳、エアロビクスのインストラクターもという、医院にはちょっと縁遠い健康指向派。——何故この道に? 「教育実習に3週間ほど行ったんですが、生徒がボーとしていて、全然こちらの思っていることが通じない。くたびれちゃって…。これが何年も続くと思うと…。スパッとやめちゃいました(笑)。——で今は? 「休みもキチッととれるし、最初は言葉使いその他大変だったんですが、たのしいですね。心掛けていることは「1日30人位の方と対応するんですが、初診の方は不安がありますから、出来るだけ自分から話しかけ、笑いかけるようにしています。特に電話は相手の顔が見えませんが気をつけるようにしています」。さすがは受付。笑顔を絶やさずソツなくキチッとされたご返事。

鶴岡さんは東京歯科衛生士専門学校を卒業され、他院の一般歯科に5年近く、当院で1年を迎えた衛生士さん。「前院は大きな歯科医院で役割分担が決められており、私は予防を主にやって来ましたので、今後は矯正をやり、衛生士としての分野を広げよう」と…。当院に就職するまで何院か見学させてもらったんですが、ほとんどは矯正の準備までで後はドク

アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5

☎03(3492)7651(代)



ターがというところが多かったんです。ここはまかせてくれる範囲が広いし、将来は予防とミックスさせ衛生士としての活動の場を広げていけたらと思っています。6年近いキャリア。学ばれたことは？「当院ではないんですが、医療従事者はどうしても相手に、してあげる、治してやっている、という気持ちになりがちなんです。病む立場に立って、相手の身になって考えてあげる。これが一番大切なことだと近頃わかって来ました。やはりベテラン。医療の原点を掴みつつあるようだ。

村山さんも太陽歯科衛生士専門学校を卒業され、他院で5年近い経験を積んだ後当院へ。入局2ヶ月たったばかりと云われるが、雰囲気にはすっかり馴れている様子。「昔から絵

が好きで勉強しているんですが、前の医院は日曜日も治療していたものですから学校に行けなくて、働きやすいところだったんですが退職しました」と現代っ子気質を正直に。——以前も矯正歯科医院？「ええそうです。でもやり方は医院によって全然違いますし、やっと慣れて来たというところです。矯正の魅力は、1人の患者さんと長くつき合え、良くなっていく過程が目に見える、ということですね。前院の先生もやさしかったけれど、ここも皆さん明るく、先生もやさしい。趣味と両立させながら、少しでも長く勤められたら、と思っています。将来はともかく、現在ではちょっと特殊な分野に入る矯正専門医。腰を据えて将来を、と考えておられる衛生士さんにとっては魅力ある分野の一つであろう。



一般歯科と違い矯正は衛生士としての力を発揮出来る分野が広いので、本人

の心掛け次第でいくらでも活躍出来ます。歯科に限らずどんな職業でもそうでしょうが、相手に対して細かい心使い、気を使うことが出来れば、相手も心を開いてお互い気持ち良く意志の疎通が図れます。特に矯正は、痛くないし、期間も長いので、そうしたコミュニケーションは衛生士にとっても、やりがいがありますし将来のためになると思います。院内では肝炎やエイズ等の予防のため全員が手袋、マスク着用で治療にあたっていますが、こうした注意は私達はもとより患者さんにも安心感を与えるのではないのでしょうか。——田口理事長



空前の経済繁栄、人手不足で今までは資格を持ちながらより楽な職業に変わっ

ていく若い方が多かったが、バブル崩壊でその良否は別にして、若者の意識も変化していくのではないのでしょうか。歯科医院はデンタルチームがお互いに役割を決め、総合的に評価される時代に入っています。そうした意味では良い時期になった、と考えています。スタッフに常々云っていることは、やはり挨拶と明るい笑顔ですね。個人の育った環境や勤務経験によって多少違いますが、当院の女性に点数をつければ…困ったなあー(笑)。平均85点位かな。良くやってくれていると思いますよ。

——沖藤専務理事

オサダの商品
〈お元気ですか〉

医療法人社団 弘進会 宮田歯科

東京都港区三田1-4-28
三田国際ビルディング2階



理事長 宮田庄三郎

となっているのだろう。少しでも私利私欲を考えていたら…。とても出来ることではない。歯科医師として真剣に生きる姿に圧倒される思いだ。

ご使用されるユニットも120台以上。どのユニットも専門のケアマンがいるとはいえ、ピカピカだ。オサダに対しては？「長い間には多少浮気もしたが(笑)…。それにしてもオサダの機械は長持ちするねー。最新のものでも15年以上、それ以前のものももう25年近く使っていますよ。身の回りの他の機器を

見てもそんなに使えるものは見当たらないよ。オサダに云いたいよ。25年も使えるユニットはもう作るなど(笑)。外国製品も使ったが、車と同じでアフターケアにお金がかかるし、部品によっては何ヶ月も待たされることもある。これでは歯科医院はやっていけない。やっぱりオサダだよ(笑)」とうれしい言葉。——厳しい時代を迎えたと云われる歯科医院。今後は？「地域、患者層、歯科医としての生き方、色々ありますから一概には云えないが、自分の医院をどのような方向に持って行きたいかをキチッと決めることですね。当院では、入局時から半年間は立ちんぼう(見学)だけ。その後先輩について徐々に患者さんに触れていきながら、分院間での研修会や外部講師を呼んでの勉強で技術や知識、又先程云いましたように歯科医師としての心構えを学んでいきます。労働条件も社会情勢に合わせ、時間の短縮と給料のアップ。この異なる矛盾をどうしたら両立させることが出来るか。やっぱり総体的にレベルを上げるしかありませんし、それではなくは近頃の若い人について来ません。医療の原点と時代の流れ。私は先輩、学校、患者、この3者が今の自分を作ってくれた、と思っています。厳しい時代といわれますが、医師として真剣にそれに対処して行けば必ず道は開けていきます」。文章に書くと固くなってしまいが、随所に独自の例をひきながらユーモアを交えてのお話し振りは、医院規模と同じくケタはずれ(?)。サミュエルマンの詩、「青春とは…」を彷彿させる、いつまでも魅力あふれる理事長である。

昭和22年、現在本院と呼ばれる北品川で2台のユニットから開業された宮田歯科医院。以前当誌でもお知らせしたが、以来45年余、患者さんの要望によって設立した各分院は現在6院、ドクター70名、衛生士72名、技工士・助手・事務等を含めた総スタッフは260名という大所帯。歯科医院過密、過剰といわれる現状下にあつてこの規模は、患者さんの絶大な信頼度のもとより、その運営方法やスタッフ教育等総てに亘って卓抜したものがあるのに相違ない。

既に巣立って全国で活躍されている歯科医師も800人以上。読者の先生方の中にも宮田理事長のご健在を知ってホッとされていると同時に若き修業時代を思い出し、感慨を新たにされている方も多いことであろう。「いやー、私も77才。削ったり、埋めたりは若い先生方にはかないません。治療の中間と最終のチェックをするだけです」と云われるが、その誠実な言動一つ一つが、患者さんに安心感を抱かせる秘訣であることは間違いない。——振り返ってご自身の人生は？「大変なことも多かったが、患者さんが私の人生を作り上げてくれたようなものですよ。夢中で歩いて来た人生ですが、歯科医になって幸せだったと思います。ただここ7~8年はちょっと苦労しましたよ(笑)」。何故？「ご存知のように我々をとりまく環境が非常に厳しくなって来ましたから…。従来のやり方から、診療に付加価値をつけ、より多くの精神的サービスをも提供して行かなくてはならないと。10年前から現在を見越し、患者さんの呼び方も“さん”から“様”へ。お茶を出し、季節に合わせた冷暖のおしほりを提供。患者さんがイライラした気分を静めてから診療に入る等、この人数ですから、そうしたことを徹底させるのに技術、知識の教育に加え専門家の講義など毎年金額も1億使いました。でもそれが当院で経験し、巣立って行く先生方や、又歯科医院に対して恐怖心や反感を持たれている患者さんの理解が深まれば歩む人生に悔いはないと思っています」。常に医療の最先端と国民のニーズを読み取り、それにチャレンジして行く柔軟な姿勢が、年間20万人以上という途方もない患者数をひきつける最大の要因



診療室訪問シリーズ



北村歯科医院

東京都目黒区目黒3-1-7
日生住宅目黒マンション101

院長 **北村 裕**
(神奈川歯科大学卒・45才)



電源さえあれば、どこへでも移動自由な
「エナック6」。多方面に使っておりますが、
使い勝手は良いですね。

オサダエナック6

製造承認番号02B第0419号

山の手線に沿って、その外側をとり巻く様に半円に走る山手通り。北村歯科医院は目黒・権之助坂を下った大鳥神社と東横線・中目黒駅のほぼ中間地の通り沿いのマンション1階にある。

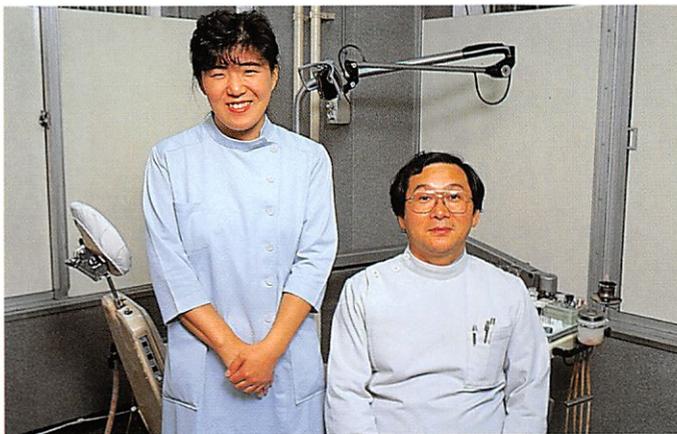
昭和53年12月ご開業といわれるから、今年末で丸14年。お母様(武蔵小山開業)、叔母様(伊豆で開業)も現在ご活躍中の歯科医師という、3代目。神歯大卒業後は東京医科歯科大学の医員として口腔外科第一教室に4年余り。

その間順天堂大学で学位を取得。現在も特別研究生として東医歯大に通っておられるという勉強家。又、神歯大の同窓生で作るフィリピン・セブ島におけるボランティア活動には、ご自身で作られた携帯用ユニットを持って参加されるといふ、メーカー顔負けの工学技術派でもある。

2面が窓に面した角の診療室には14年前にご購入頂いたスマイリーNタイプ2台とキャビネットの上には注水器付「エナック6」が。

◇ 私は伊豆の診療所のユニットも自分で組み立てたほど、昔から器械いじりが好きでした。

◇ 「エナック6」を購入したのは、電源さえあれば、注水の心配もなしにどこでも自由に移動出来るからです。ただオサダさんは使い勝手と品質に重点を置きすぎるくらいがありますね(笑)。このモーターも医科における塵肺モーターに近いものが使われています。こんなに良いものを使う必要はありませんよ(笑)。根管治療、スクレーパー、膿漏の洗浄等、1日に何回も使いますが、使い勝手は良いですね。



※資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、本社お客様センター係宛にハガキでご請求下さい。

診療室訪問シリーズ

藤田歯科医院

東京都港区南青山5-8-9 青山モータース3階

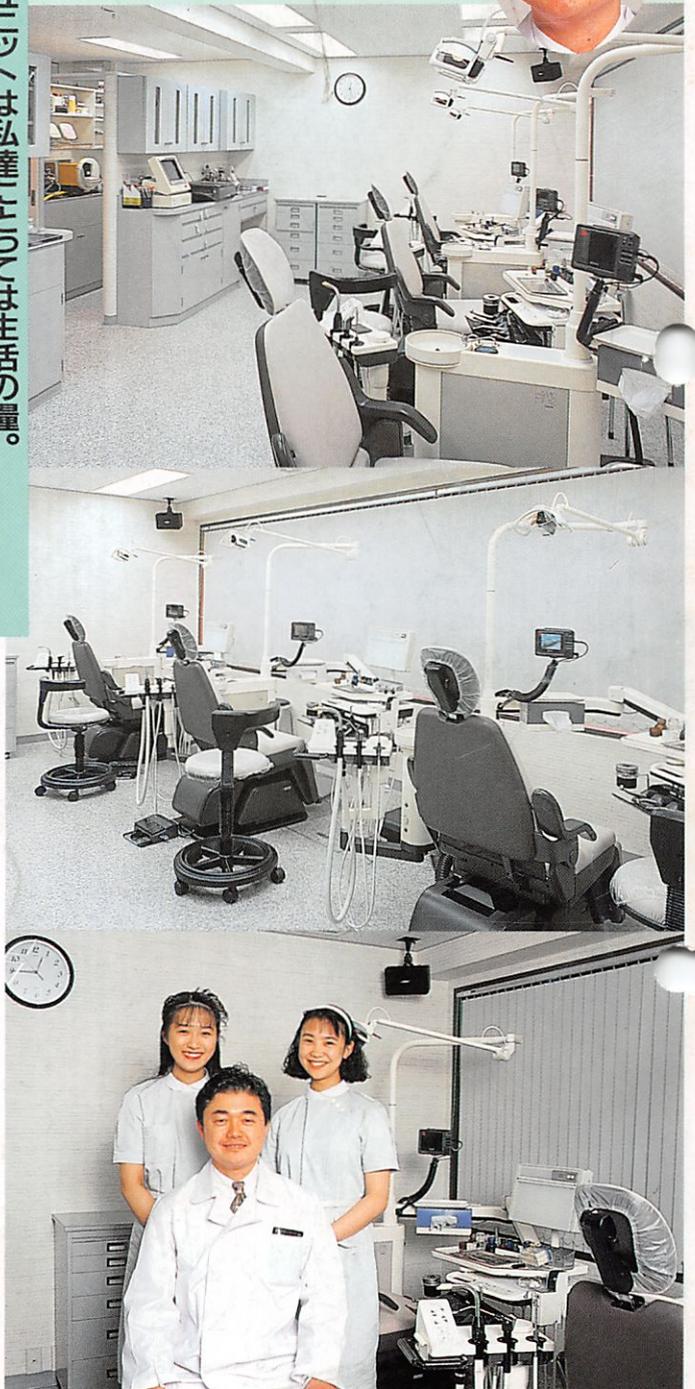
院長 藤田直久
(日本歯科大学卒・33才)



ユニットは私達にとっては生活の糧。

スマートで形も良いスマイリー(フライン)型。

評判通り使い易いですね。



地下鉄表参道駅を降り、青山5丁目の交差点を左に折れて120m。この東京の最先端をいく街に今年6月開業したばかりの藤田歯科医院。待合室は暖かい薄紫系でまとめ、診療室は都会人好みのモノトーンと雰囲気ガラリと変えたインテリア。

院長は卒業後、同じ青山で勤務医を8年ほど経験された、そろそろ中堅の域に入られる青年医師。スタッフは院長と妹の藤田和喜子先生(日歯大卒)と故郷の後輩の先生(日大卒)と衛生士6名の陣容。患者数は1日80名前後と、過密地帯では大健闘と思われるが、ご本人は勤務医時代に比べれば、と平気な様子。「この辺りは気取った店が並んでおりますが、個々の患者さんは逆に暖か味を求めているんですよ。サックバランな八百屋の親父さんのような笑」。将来は?「プロマネマルクのインプラントを勉強中ですが、これを本格的に導入したいと思っております。ただし、交通事故などで突発的

に欠損された若い人などが対象者ですが」と云われる。休憩中はスタッフと友達感覚でつき合う明るい性格の院長。おっしゃるように、ホッとする雰囲気のある歯科医院である。

勤務医時代各社の製品を使用しましたが、オサダは、アフターも良いし、最も使い易かったです。スマイリー(フライン) L型はそれ等に加え形も良くスマートです。価格も、1日中使うものですし、これが私達の生活の糧。車など他の贅沢品に比べればちつとも高いとは思いません。評判通り使い易いユニットだと思います。



SMILEY Fine L型

製造承認番号01日第0296号

※資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、本社お客様センター係宛にハガキでご請求下さい。